

平成 2 2 年度

大分市美術館

年 報

## 目次

1. 運営方針	4
2. 沿革	5
3. 展覧会事業	6
1. 特別展	6
2. 常設展	38
3. サマー企画	55
4. 教育普及事業	60
1. 芸術・文化に親しむ講座	60
2. 実技講座	60
3. アートカレッジ	60
4. 美術館で音楽会	61
5. 子ども講座	62
6. ファミリーアートクラブ	63
7. 出前鑑賞教室	64
8. 職場体験	64
9. ボランティア研修講座	65
10. ボランティア養成講座	65
11. ボランティア活動	66
12. 博物館実習	67
13. 各種刊行物	68
5. 資料収集事業	69
1. 美術品等収集事業	69
2. 平成22年度作品貸出実績	74
3. 所蔵図書	78
4. 所蔵映像資料	78
6. 管理運営	79
1. 職員数	79
2. 事務分掌	79
3. 利用状況	80
4. 建築設備概要	81
5. フロア別面積	83
6. 決算	84
7. 利用案内	84
8. 条例	84
9. 条例施行規則	84

7. アートプラザ	85
1. 運営方針	85
2. 施設概要	85
3. 業務内容	85
4. 現代美術作品 大分市美術館所蔵 常設展示	88
5. 利用案内	89
6. 利用状況	89
7. アートプラザ条例	89
8. アートプラザ条例施行規則	89

## 1. 運営方針

大分市美術館は、緑豊かな上野丘公園内に位置し、「たのしんで・みて・まなぶ」美術館として、年間を通じて所蔵の美術品が鑑賞できる常設展やさまざまな優れた分野の美術を紹介する特別展の開催、各種講座・講演会の開催など、子どもから大人までだれもが幅広く楽しめる生涯学習施設としての美術館運営をめざしている。

そのために、豊後南画や大分市にゆかりのある作家の優れた作品などの収集保存活動をはじめとし、調査研究活動、展示活動、教育普及活動、広報活動という5部門の活動を通じて、芸術文化の振興につとめている。

また、特色ある地域の美術文化情報を広く発信し、開かれた美術館として市民との協働による運営を推進している。

## 2. 沿革

昭和 60(1985)年		展示用美術作品の購入開始
昭和 62(1987)年	6 月	市長、6 月議会において、美術館建設を表明 教育委員会社会教育課を所管事務担当とする
昭和 63(1988)年	8 月	大分市美術館基本構想委員会設置(委員 15 名、会長高山辰雄画伯)
平成元(1989)年	3 月	ハイビジョン・シティ構想(郵政省)のモデル都市指定を受ける
	9 月	大分市美術館基本構想委員会が大分市美術館基本構想を答申
平成 2(1990)年	2 月	大分市美術館建設委員会設置(委員 17 名、会長高山辰雄画伯)
	4 月	教育委員会庶務課に美術館建設事務従事を置く
	5 月	美術館建設予定地を上野丘陵地に決定 (第 2 回大分市美術館建設委員会)
	6 月	(仮称)大分市美術館美術作品収集委員会設置要綱制定(委員 9 名)
平成 3(1991)年	4 月	設計者を内井昭蔵建築設計事務所と決定 (指名 5 社のプロポーザル方式、第 4 回大分市美術館建設委員会)
	9 月	上野丘公園が「平成記念子どものもり公園(建設省)」に指定される
	10 月	市長、「美術館建設計画の見直し」を発表
平成 5(1993)年	4 月	教育委員会文化振興課を所管事務担当とする
平成 7(1995)年	9 月	美術館基本・実施設計委託(内井昭蔵建築設計事務所)
	12 月	美術館基本設計終了
平成 8(1996)年	4 月	教育委員会に美術館建設準備室を設置
	5 月	美術館実施設計完了
	9 月	美術館敷地造成工事着工
	12 月	美術館敷地造成工事完成 美術館新築工事着工
平成 10(1998)年	6 月	美術館本体工事完成
	9 月	美術館外構工事完成「大分市美術館条例」制定
	12 月	大分市美術館発足
平成 11(1999)年	2 月	17 日、開館
平成 12(2000)年	11 月	第 41 回建築業協会賞受賞
平成 14(2002)年	2 月	観覧者が 50 万人を超える
平成 16(2004)年	7 月	16 日、皇太子殿下行啓
平成 18(2006)年	4 月	機構改革により二課体制を一課とし、美術振興課設置
平成 19(2007)年	8 月	観覧者が 100 万人を超える
平成 20(2008)年	11 月	秋篠宮殿下お成り
平成 21(2009)年	2 月	開館 10 周年記念式典挙行

### 3. 展覧会事業

#### 3. 1 特別展

##### 3. 1. 1. 銅版画の巨匠 駒井哲郎展

**概 要** 駒井哲郎（1920・大正9年—1976・昭和51年）は東京都生まれ。1941年、新文展に初入選。戦後は1948年、第16回日本版画協会展に初出品して受賞。また、1951年には第1回サンパウロ・ビエンナーレ展に《東の間の幻影》を出品してコロニー賞を受賞。国際的にも評価を受け、1953年には関野準一郎、浜口陽三等と日本銅版画家協会を設立。以降、銅版画の様々な技法を駆使して、詩情あふれる独特の幻想的世界を描き出し、日本銅版画界の第一人者として活躍した。

本展では、初期から最晩年にいたる駒井芸術の全貌を、大分市美術館が所蔵する作品100点余により紹介した。

**会 期** 平成22年4月15日（木）～5月16日（日） 公開日数29日間

**主 催** 大分市美術館

**後 援** 大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、OCT大分ケーブルテレコム

**出品点数** 版画 106点

**観覧者数** 2,903人

**観 覧 料** 一般300(250)円／高大生200(150)円、中学生以下無料  
※( )内は20人以上の団体料金

**展示解説** ■美術館職員による展示解説（要観覧料）  
日 時 会期中毎週水曜日 午後2時～  
場 所 企画展示室  
参加者 17人

**関連記事** 「大分市で駒井哲郎展」『大分合同新聞』4月29日

（担当 岡村）

## 目録

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材
1	丸の内風景	1938	9.0 × 5.0	エッチング
2	足場	1942	16.7 × 19.7	エッチング
3	孤独な鳥	1948	12.2 × 8.4	メゾチント、ソフトグラ ンド、エッチング
4	ラジオ アクティビティ イン マイルーム	1949	9.0 × 8.3	エッチング、メゾチント
5	二つの球	1949-50	9.1 × 13.3	アクワチント
6	R夫人像	1950	18.0 × 15.0	アクワチント
7	夢の推移	1950	12.5 × 15.5	メゾチント
8	海底の祭	1951	23.8 × 17.1	メゾチント、ソフトグラ ンド、エッチング
9	夜の魚 (夢 NO. 5)	1951	12.3 × 15.2	エッチング、メゾチント
10	束の間の幻影	1951	18.0 × 29.0	アクワチント
11	時間の迷路B	1952	24.0 × 22.0	アクワチント
12	人形と小動物	1951	18.0 × 10.4	アクワチント
13	月のたまもの	1952	10.0 × 30.2	アクワチント
14	果実の受胎	1953	13.4 × 15.5	エッチング、アクワチン ト
15	仏国風景	1954	9.7 × 6.9	ビュラン
16	廃墟	1954	16.7 × 12.3	エッチング
17	芽生え	1955	15.5 × 28.0	アクワチント、ビュラン
18	ある空虚	1957	18.0 × 27.2	エッチング
19	果実	1958	15.0 × 18.2	エッチング、アクワチン ト
20	13	1958	26.5 × 36.1	アクワチント
21	コミック III	1958	21.0 × 15.0	アクワチント
22	少年	1958	21.0 × 11.5	アクワチント
23	樹	1958	27.0 × 18.0	エッチング
24	樹木	1958	26.0 × 36.2	アクワチント
25	風	1958	15.0 × 18.2	アクワチント
26	食卓 I	1959	27.0 × 19.0	アクワチント
27	エチュード	1959	26.2 × 36.0	シュガーアクワチント、 ビュラン
28	果実の受胎	1959	26.2 × 35.8	アクワチント
29	森・樹木	1960	29.7 × 36.2	シュガーアクワチント、 ビュラン
30	『からんどりえ』表紙(ある季節)	1960	26.5 × 44.6	シュガーアクワチント

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材
31	道化 (ある肖像)	1960	23.5 × 18.5	エッチング
32	NOVEMBER 樹木	1960	17.5 × 15.1	シュガーアクワチント、 ビュラン
33	阿呆	1960	29.8 × 24.8	シュガーアクワチント
34	女	1960	20.7 × 15.0	エッチング
35	手	1960	23.2 × 36.3	アクワチント、シュガー アクワチント
36	海鳴り	1965	13.2 × 13.5	アクワチント、シュガーアク ワチント、エッチング、ルー レット
37	顔の軌跡	1961	10.0 × 13.3	エッチング、アクワチン ト
38	笑う人	1961	13.3 × 13.3	エッチング
39	貝	1961	26.2 × 39.8	エッチング、アクワチン ト
40	街	1961	18.1 × 17.0	リトグラフ
41	星座	1962	28.0 × 36.5	アクワチント
42	魚たち	1962	12.0 × 17.0	アクワチント
43	魚たち	1962	12.0 × 17.0	アクワチント
44	花	1965	12.5 × 9.3	アクワチント
45	黒い鏡	1964	25.3 × 39.0	シュガーアクワチント
46	人それを呼んで反歌という 表紙	1965	34.0 × 53.5	シュガーアクワチント
47	人それを呼んで反歌という 詩人の肖像	1965	6.6 × 11.9	エッチング
48	人それを呼んで反歌という 小鳥	1965	9.2 × 10.3	シュガーアクワチント、 ディープエッチング
49	人それを呼んで反歌という カタツムリ	1965	10.4 × 9.4	シュガーアクワチント、 ディープエッチング
50	人それを呼んで反歌という 残雪譜	1965	27.0 × 20.2	シュガーアクワチント、 エッチング
51	人それを呼んで反歌という 鎮魂歌	1965	27.0 × 20.2	エッチング
52	人それを呼んで反歌という 年齢につ いて	1965	29.0 × 72.0	エッチング、ドライポ イント
53	人それを呼んで反歌という 夕立	1965	11.1 × 11.7	シュガーアクワチント
54	人それを呼んで反歌という 厨房にて	1965	32.8 × 49.8	シュガーアクワチント
55	人それを呼んで反歌という 食卓にて、 夏の終りに	1965	27.0 × 44.0	エッチング
56	人それを呼んで反歌という 腐刻画	1965	27.0 × 16.4	エッチング
57	人それを呼んで反歌という 人それを呼 んで反歌という	1965	36.5 × 51.5	アクワチント
58	人それを呼んで反歌という 枝おろし	1965	27.0 × 20.2	シュガーアクワチント、 エッチング
59	人それを呼んで反歌という	1965	27.2 × 20.5	シュガーアクワチント、空 押し
60	人それを呼んで反歌という 小犬	1965	6.5 × 8.0	エッチング



No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材
61	庭の一遇	1966	32.5 × 49.3	シュガーアクワチント
62	小鳥	1966	9.2 × 10.3	シュガーアクワチント、 ディープエッチング
63	通過	1966	16.0 × 11.5	エッチング
64	Composition de la Nuit フロントピース	1969	11.8 × 9.5	エッチング
65	Composition de la Nuit 顔の中の赤い月	1969	25.7 × 17.8	エッチング
66	Composition de la Nuit 首つり	1969	25.7 × 17.8	エッチング
67	Composition de la Nuit 時計の眼	1969	25.7 × 17.8	エッチング
68	Composition de la Nuit 崩解感覚	1969	25.7 × 17.8	エッチング
69	Composition de la Nuit 地獄篇 第28歌	1969	25.7 × 17.8	エッチング
70	Composition de la Nuit 作者の肖像	1969	26.0 × 18.5	エッチング
71	Composition de la Nuit 暗い絵	1969	25.0 × 18.0	エッチング
72	Composition de la Nuit 肉体はぬれて	1969	25.8 × 18.3	エッチング
73	Composition de la Nuit 残像	1969	26.3 × 18.3	エッチング
74	Composition de la Nuit 囚人	1969	25.6 × 17.8	エッチング
75	二樹	1970	24.3 × 16.9	エッチング
76	九つの夢から フロントピース	1969-70	6.7 × 12.8	エッチング
77	九つの夢から 1. 九つの夢から	1969-70	18.1 × 13.6	エッチング
78	九つの夢から 2. この暗黒の帯のはずれに、小さな無数の光をちりばめた宝冠のように	1969-70	16.4 × 12.2	エッチング
79	九つの夢から 3. 肩の向うに隠れたその顔だけがどうしても見えない不思議な男の…	1969-70	16.4 × 12.2	エッチング
80	九つの夢から 4. 向うの世界の入口にうつっているものは、つるつるしたのっぺらぼうのもの、その形状から…	1969-70	21.9 × 12.1	エッチング
81	九つの夢から 5. …私はまた背後をふりかえった。	1969-70	16.3 × 12.2	エッチング
82	九つの夢から 6. 暗黒の水平線にいわば一本の遠い竜巻の柱ほどもちあげられて	1969-70	21.8 × 12.2	エッチング
83	九つの夢から 7. 深い地底に蹲りつづけたような黒い皮膚をもった、背の低い、無表情な老人が、	1969-70	16.4 × 12.2	エッチング
84	九つの夢から 8. かたちもないものがかたちをもとうとする初原の渾沌がそこに現出されているのであった	1969-70	16.4 × 12.2	エッチング
85	九つの夢から 9. すぐ眼前に映っている私の瞳孔の真暗なトンネルの円を横切って、	1969-70	21.8 × 12.2	エッチング
86	九つの夢から 10. 粗らな剛毛と長い爪と太い指を備えた大きな掌が不意と左辺の上方に	1969-70	16.4 × 12.2	エッチング
87	10. Variant	1969-70	16.4 × 12.2	エッチング

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材
88	九つの夢から 11.すると、さながらいまの いま水面から頭を擡げて空いっぱいを開いた 真黒な鯨の巨大な口のような暗い穴が、	1969-70	16.4 × 12.2	エッチング
89	九つの夢から 12. 拡がった闇の先端の顎の あたり、口ともしれぬ口のあたりを	1969-70	21.8 × 12.2	エッチング
90	九つの夢から 13. それは、 忽ち水面を走る 黒い昆虫の羽根と化し、 …	1969-70	16.4 × 12.2	エッチング
91	九つの夢から 14. ひとつの黒の構図がひと つの白の構図へ見る見る裡に転化して	1969-70	16.4 × 12.2	エッチング
92	平原	1971	21.8 × 20.8	エッチング
93	蛇	1973	23.5 × 21.0	アクワチント
94	ミカエル	1973	20.8 × 9.8	アクワチント
95	丸山薫詩集<蟻のいる顔> フロントピース	1973	18.0 × 15.0	エッチング
96	丸山薫詩集<蟻のいる顔> 表紙	1973		エッチング
97	丸山薫詩集<蟻のいる顔> 顔	1973	23.5 × 21.0	エッチング
98	丸山薫詩集<蟻のいる顔> ピケの残像	1973	23.5 × 21.0	エッチング
99	丸山薫詩集<蟻のいる顔> 蛇	1973	23.5 × 21.0	エッチング
100	丸山薫詩集<蟻のいる顔> 街	1973	23.5 × 21.0	エッチング
101	丘 (日本の四季 春)	1975	26.0 × 24.0	エッチング
102	流星	1975-76	9.9 × 9.9	モノタイプ
103	花	1975-76	9.9 × 9.9	モノタイプ
104	渦	1975-76	9.9 × 9.9	モノタイプ
105	茨	1975-76	9.9 × 9.9	モノタイプ
106	入口	制作年不詳	21.5 × 16.0	モノタイプ

### 3. 1. 2. 郷土在住作家展Ⅳ 菅久展

**概 要** 菅久（大分市在住）は、1926（大正 15）年、中国の東北部（現：丹東市）で生まれた。その後、青年期を中国山東省青島で過ごす。1945（昭和 20）年、現地召集兵として徴兵され、戦地に赴き、召集解除後の 1946 年、大分県日出町に復員。

1947 年から、中学校で美術を教える一方、本格的に油彩画の制作に取り組み、1950 年、第 4 回二紀展に《No. 5》を初出品して初入選。以後、同展を中心に中央での発表を続け、1956 年、同会同人、1986 年、同会会員、1994（平成 6）年、同会委員に推挙された。

また、地元大分では、1950 年、岩尾秀樹らの「ネギ」、廣瀬通秀らの「スバル会」など、若手前衛美術家グループに参加。1980 年以降も「潮流展」に参加した他、1965 年、大分県美術協会事務局次長、1985 年、大分県芸術文化振興会議常任理事、1995 年、大分県美術協会名誉会員となり、大分県美術の振興に尽力した。

本展では、初期の「抽象」シリーズ、中期の「美神」シリーズ、現在の心象的風景画「桜」シリーズなど、代表作約 60 点、並びに関連資料を展示し、その全容を紹介した。

**会 期** 平成 22 年 5 月 21 日（金）～6 月 11 日（金） 公開日数 20 日間

**主 催** 大分市美術館

**後 援** 大分合同新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、エフエム大分、OCT 大分ケーブルテレコム

**出品点数** 油彩画 86 点、水彩・素描 4 点、版画 1 点 及び関連資料

**観覧者数** 2,041 人

**観 覧 料** 一般 500（400）円／高大生 300（250）円、中学生以下無料  
※（ ）内は 20 人以上の団体料金

**作家トーク** 5 月 29 日（土） 午後 2 時～午後 3 時 30 分 ハイビジョンホール 108 人

**展示解説** ■美術館職員による展示解説（要観覧料）  
日 時 会期中毎週水曜日 午後 2 時～  
場 所 企画展示室  
参加者 36 人

**印 刷 物** ・ポスター B2 判・チラシ A4 判

**関連記事** 「90 点、画業の全容紹介 菅久展始まる」『大分合同新聞』5 月 21 日  
「菅久展 警世伝える作品群」『大分合同新聞』6 月 3 日

（担当 大神）

目録

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	出品歴/所蔵他
1	青島風景1	1942	各17.7 × 10.8	鉛筆、水彩・紙	
2	青島風景2	1942	各10.8 × 17.7	鉛筆、水彩・紙	
3	朝顔	1944	30.0 × 37.5	水彩・紙	
4	静物 (野菜)	1944	31.0 × 50.0	油彩・板	
5	自画像	1947	40.0 × 27.0	クレパス・紙	
6	作品A (黒い花)	1953	60.6 × 45.5	油彩、塗料・キャンバス	第6回スバル展 (スバル賞) / 大分市美術館蔵
7	森の中	1951	44.5 × 52.0	油彩・キャンバス	
8	No. 5	1950	24.5 × 31.5	油彩・キャンバス	第3回スバル展
9	No. 6 (河口)	1950	90.9 × 116.7	油彩・キャンバス	第2回ネギ展、第4回第二紀展
10	No. 3 (瓶のある静物)	1950	53.0 × 65.2	油彩・キャンバス	第3回スバル展
11	窓辺の静物	1950	51.0 × 63.0	油彩・キャンバス	
12	森の径	1951	51.8 × 63.5	油彩・キャンバス	サロン・ド・プランタン展
13	椅子の静物	1951	91.0 × 73.0	油彩・キャンバス	第5回第二紀展
14	机の静物	1951	91.0 × 73.0	油彩・キャンバス	第5回第二紀展
15	風景A (海浜)	1952	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	第5回スバル展、第6回第二紀展
16	コンストラクション	1953	90.0 × 116.7	油彩・キャンバス	第7回第二紀展
17	作品 (No. 5)	1954	130.3 × 162.1	油彩、塗料・キャンバス	第7回スバル展
18	作品1	1954	130.3 × 162.1	油彩、塗料・キャンバス	第7回スバル展
19	もつれあう	1955	90.0 × 116.7	油彩・キャンバス	第17回大分県美術展/大分県立芸術会館蔵
20	きそう	1956	90.9 × 116.7	油彩・キャンバス	第10回記念二紀展
21	わ (祝祭)	1957	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	第10回記念スバル展、第11回二紀展
22	移動する空間	1958	97.0 × 145.5	油彩・キャンバス	第11回スバル展、第12回二紀展
23	黒い花の断面	1958	145.5 × 112.1	油彩・キャンバス	第11回スバル展、第12回二紀展
24	ひとすじ	1957	116.7 × 90.9	油彩・キャンバス	二紀会新人選抜展
25	No. 3	1963	130.3 × 162.1	油彩・キャンバス	第17回二紀展
26	作品A	1965	145.5 × 112.1	油彩、週刊誌カラー・板	二紀選抜100人展
27	1965の1	1965	162.1 × 130.3	油彩、新聞紙、週刊誌カラー・板	第19回二紀展
28	1965の2	1965	162.1 × 130.3	油彩、新聞紙、週刊誌カラー・板	第19回二紀展
29	1965の3	1965	162.1 × 130.3	油彩、新聞紙、週刊誌カラー・板	第19回二紀展
30	伝説	1966	145.5 × 112.1	木、油彩・板	二紀選抜100人展
31	絵画Y	1966	145.5 × 112.1	油彩、エナメル・板	第20回記念二紀展

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	出品歴/所蔵他
32	点在する同心円1	1967	162.1 × 130.3	エナメル・板	第21回二紀展
33	点在する同心円2	1967	162.1 × 130.3	エナメル・板	第21回二紀展
34	点在する同心円3	1967	112.0 × 52.8	油彩、エナメル・板	
35	十文飾	1968	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	第22回二紀展
36	作品E	1969	162.1 × 112.1	油彩・キャンバス	第23回二紀展
37	文字を配したコンポジション青	1971	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	第25回記念二紀展
38	文字を配したコンポジション赤	1970	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	第24回二紀展
39	文字を配したコンポジション青	1970	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	第24回二紀展
40	赤いトランク	1975	162.1 × 227.3	油彩・キャンバス	第29回二紀展
41	3番ホーム	1977	227.3 × 162.1	油彩・キャンバス	第31回二紀展/学校法人 平松学園蔵
42	三美神3	1978	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	第32回二紀展、'80大分県美術総合選抜展
43	三美神(2)	1979	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	第33回二紀展、'81大分県美術総合選抜展
44	仮面の美神X	1980	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	第34回二紀展
45	箱の中のアダムとエバ	1980	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	第34回二紀展、'82大分県美術総合選抜展
46	美神の変貌	1981	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	第35回記念二紀展
47	美神の変貌H	1982	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	第36回二紀展
48	美神の変貌・パゴダの見える	1984	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	第38回二紀展
49	美神の変貌/装	1982	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	第36回二紀展
50	美神の変貌A	1983	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	第37回二紀展
51	美神の変貌/求	1984	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	第38回二紀展
52	美神の変貌(操)	1985	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	第39回二紀展
53	美神の変貌/悠	1986	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	第40回記念二紀展
54	記憶の中の風景/翔	1987	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	第41回二紀展
55	美神の変貌/熙	1986	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	第40回記念二紀展
56	美神の変貌/哲	1986	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	第40回記念二紀展(会員推挙)
57	人形A	2005	52.0 × 44.0	油彩・キャンバス	2005年個展
58	人形B	2005	52.0 × 44.0	油彩・板、キャンバス	2005年個展
59	青島風景	1987頃	41.0 × 52.0	リトグラフ	
60	旗の花	1987	145.5 × 112.1	油彩・キャンバス	第41回二紀展
61	記憶の中の風景/連	1987	97.0 × 162.0	油彩・キャンバス	第41回二紀展、大分の作家たち I 現代の美術「描く」
62	記憶の中の風景/峙	1987	130.3 × 162.1	油彩・キャンバス	第41回二紀展

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	出品歴/所蔵他
63	記憶の中の風景／巡	1988	112.1 × 145.5	油彩・キャンバス	1988年二紀会員展
64	記憶の中の風景／対	1987	112.1 × 145.5	油彩・キャンバス	1987年二紀会員展、大分の作家たちⅠ現代の美術「描く」
65	記憶の中の風景／遥	1988	130.5 × 162.0	油彩・キャンバス	大分の作家たちⅠ現代の美術「描く」
66	花束飛天	1990	130.5 × 162.0	油彩・キャンバス	第44回二紀展
67	記憶の中の風景／瓢	1988	162.1 × 260.6	油彩・キャンバス	第42回二紀展（会員賞）
68	記憶の中の風景／霹	1989	162.1 × 224.2	油彩・キャンバス	第43回二紀展
69	春風雷鳴	1990	162.1 × 224.2	油彩・キャンバス	第44回二紀展
70	火の戦い	1991	162.1 × 224.2	油彩・キャンバス	第45回記念二紀展
71	炎の戦い	1992	162.1 × 224.2	油彩・キャンバス	第46回二紀展
72	空からのメッセージ	1993	162.1 × 224.2	油彩・キャンバス	第47回二紀展
73	空からのメッセージ	1994	162.1 × 224.2	油彩・キャンバス	第48回二紀展
74	払暁	1995	162.1 × 224.2	油彩・キャンバス	第49回二紀展
75	万朶	1996	162.1 × 224.2	油彩・キャンバス	第50回記念二紀展
76	花嵐	1997	162.1 × 224.2	油彩・キャンバス	第51回二紀展
77	旋風	1998	162.1 × 224.2	油彩・キャンバス	第52回二紀展
78	春雷	1999	162.1 × 224.2	油彩・キャンバス	第53回二紀展
79	花筏	2000	162.1 × 227.3	油彩・キャンバス	第54回二紀展
80	夕紅	2001	162.1 × 227.3	油彩・キャンバス	第55回記念二紀展（第55回記念賞）/大分市美術館蔵
81	花霞	2002	162.1 × 227.3	油彩・キャンバス	第56回二紀展
82	紅嵐	2003	162.1 × 227.3	油彩・キャンバス	第57回二紀展/学校法人 平松学園蔵
83	霹靂	2004	162.1 × 227.3	油彩・キャンバス	第58回二紀展
84	別府湾暮色	2007	162.1 × 227.3	油彩・キャンバス	第61回二紀展（成井賞）/大分市美術館蔵
85	もみじ雷神之図	2006	162.1 × 227.3	油彩・キャンバス	第60回記念二紀展
86	さくら風神之図	2005	162.1 × 227.3	油彩・キャンバス	第59回二紀展
87	別府湾暮色・扇山火まつり	2008	162.1 × 227.3	油彩・キャンバス	第62回二紀展
88	凧と秋果	2004	71.7 × 59.5	油彩・キャンバス	2004大分二紀展
89	チカマウガ米軍キャンプ營門	2010	72.7 × 90.9	油彩・キャンバス	第10回記念春季二紀展
90	ヴィーナスの誕生	2005	57.7 × 46.8	油彩・キャンバス	
91	BLUEの自画像	2006	26.0 × 22.8	油彩・キャンバス	

### 3. 1. 3. 郷土在住作家展Ⅳ 児玉成弘展

**概要** 児玉成弘（大分市在住）は、1932（昭和7）年、大野郡三重町（現：豊後大野市）に生まれた。1955年、大分大学教育学部美術科を卒業後、中学校で美術・英語を教える一方、本格的に油彩画の制作に取り組み、1959年、第13回二紀展に初出品して初入選。以後、行動美術展への出品を始め、1962年、第17回行動美術展に初入選。以降、同展を主舞台として中央での発表を続け、1983年、第38回行動美術展で奨励賞を受賞。同協会会友となり、1991（平成3）年、同協会会員に推挙された。

また、地元大分では、1961年の「大分前衛美術会」、1968年から1972年の「7人の会」、80年からの「潮流展」、その後の「新潮流展」など、新進の美術グループに参加するとともに、1974年には、二宮秀夫らと「行動大分作家協会」を立ち上げ、1985年からは、大分県美術協会事務局次長を務めるなど、大分県美術の振興に尽力した。

本展では、初期の「少年」、「患者の日課」、中期の「視座」、「街角」、近年の「視界」、「生域」等のシリーズから、代表作約60点、並びに関連資料を展示し、その活動の全容を紹介した。

**会期** 平成22年6月17日（木）～7月8日（木） 公開日数20日間

**主催** 大分市美術館

**後援** 大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、OCT大分ケーブルテレコム

**出品点数** 油彩画 72点 及び関連資料

**観覧者数** 1,805人

**観覧料** 一般500（400）円／高大生300（250）円、中学生以下無料  
※（ ）内は20人以上の団体料金

**作家トーク** 6月26日（土）午後2時～午後3時30分 ハイビジョンホール 106人

**展示解説** ■美術館職員による展示解説（要観覧料）  
日時 会期中毎週水曜日 午後2時～  
場所 企画展示室  
参加者 19人

**印刷物** ・ポスターB2判・チラシA4判

**関連記事** 「児玉成弘さんの半世紀振り返る」『大分合同新聞』6月17日  
「児玉成弘展 伝わる自然の息遣い」『大分合同新聞』6月24日  
(担当 大神)

目録

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	出品歴/所蔵他
1	構築B	1958	162 × 130.3	油彩・キャンバス	第22回大分県美術展（文部大臣賞）、第2回西日本洋画新人秀作展/大分県立芸術会館蔵
2	望楼	1973	162 × 130	油彩・キャンバス	第28回行動美術展
3	曇り日の坂道	1974	162 × 130	油彩・キャンバス	第29回行動美術展
4	仮寝	1975	162 × 130	油彩・キャンバス	第30回記念行動美術展
5	燃えるベトナム	1975	162 × 130	油彩・キャンバス	
6	患者の日課	1977	182 × 227	油彩、銀粉・キャンバス	第32回行動美術展
7	曇り日の患者	1977	162 × 112	油彩・キャンバス	第13回大分県美術展（大分県美術協会賞）
8	餓鬼大将' 80Z	1980	162 × 130	油彩・キャンバス	第35回行動美術展
9	みちくさ	1980	162 × 130	油彩・キャンバス	潮流展' 80
10	裏街に働く女たち	1981	227 × 182	油彩・キャンバス	第36回行動美術展
11	視座83-10	1983	72.7 × 60.6	油彩・キャンバス	第19回大分県美術展（大分県美術協会賞）
12	街人1	1983	182 × 227	油彩・キャンバス	第38回行動美術展（奨励賞）/丈六寺蔵
13	視座' 84-3季節なき漂流者	1984	182 × 227	油彩・キャンバス	第39回行動美術展、潮流展' 84
14	視座-風洞による' 85-G	1985	182 × 227	油彩・キャンバス	第40回記念行動美術展
15	街角' 87-1	1987	182 × 227	油彩・キャンバス	第42回行動美術展/大分市美術館蔵
16	作品87-9	1987	145.5 × 112	油彩・キャンバス	第23回大分県美術展（大分県美術協会賞）
17	街角89-M	1989	182 × 227	油彩・キャンバス	第44回行動美術展
18	街角91-915	1991	72.7 × 60.6	油彩・キャンバス	第27回大分県美術展（大分県美術協会賞）
19	川中不動	1990	53 × 45	油彩・キャンバス	個展〈小田急センチュリーホテル〉/個人蔵
20	作品908-9ブラックホール	1990	182 × 227	油彩・キャンバス	第45回行動美術展
21	街角91-6	1991	182 × 227	油彩・キャンバス	第18回行動大分作家展
22	街角91-7	1991	182 × 227	油彩・キャンバス	第46回行動美術展
23	想' 93-6-4 No. 2	1993	182 × 227	油彩・キャンバス	第20回行動大分作家展
24	想' 93-6-4 No. 5	1993	162 × 130	油彩・キャンバス	第20回行動大分作家展
25	Winds Way	1994	182 × 227	油彩・キャンバス	第49回行動美術展
26	Winds Way 2	1994	182 × 227	油彩・キャンバス	第21回行動大分作家展
27	気化95-7F	1995	182 × 227	油彩・キャンバス	第50回記念行動美術展
28	気流	1994	144 × 111	油彩・キャンバス	個展〈朝倉文夫記念館〉
29	気流96-7	1996	259 × 194	油彩、アクリル、銀粉・キャンバス	第51回行動美術展
30	BLACK WAVES' 97-1	1997	145.5 × 89.4	油彩、石粉・キャンバス	個展〈コトブキヤ画廊〉



No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	出品歴/所蔵他
31	New Waves-98-7	1998	194 × 259	油彩・キャンバス	第53回行動美術展
32	New Waves-98-8	1998	182 × 227	油彩・キャンバス	
33	婦人像	2000	72.7 × 60.6	油彩、アクリル、クレパス・キャンバス	
34	BLACK WAVES' 97-3	1997	60.6 × 72.7	油彩、石粉・キャンバス	個展〈コトブキヤ画廊〉
35	神角寺	1994	50 × 60	油彩・キャンバス	個展〈朝倉文夫記念館〉/個人蔵
36	早春の桂揚小学校より桂川を臨む	1989	97 × 145	油彩・キャンバス	桂揚小学校蔵
37	静物	1992	22 × 27	油彩・キャンバス	個人蔵
38	はな	1992	27 × 22	油彩・キャンバス	個展〈ワークアウト〉/個人蔵
39	冬野	1994	24 × 33	油彩・キャンバス	個展〈朝倉文夫記念館〉/個人蔵
40	源流	1994	53 × 65	油彩・キャンバス	個展〈朝倉文夫記念館〉/個人蔵
41	梅雨あけ	1992	38 × 45	油彩・キャンバス	個展〈ワークアウト〉/個人蔵
42	爆地	1999	24 × 33	アクリル・紙	個展〈JR由布院駅〉/個人蔵
43	婦人像	2000	51 × 44	アクリル、ウレタン樹脂・キャンバス	
44	冬樹林	2010	32 × 41	アクリル、ウレタン樹脂・キャンバス	個展〈ぎやらりー草本〉/個人蔵
45	レクイエム	1999	32 × 41	油彩・キャンバス	個展〈JR由布院駅〉/個人蔵
46	古都の旅 上海近郊	2006	61 × 72	油彩、アクリル、ウレタン樹脂、クレヨン、墨・キャンバス	個展〈ぎやらりー草本〉/個人蔵
47	久住山	2010	28 × 38	アクリル、ウレタン樹脂・キャンバス	個展〈ぎやらりー草本〉/個人蔵
48	森からの風	2010	59 × 71	アクリル、ウレタン樹脂・キャンバス	個展〈ぎやらりー草本〉
49	森からの風	2010	15 × 21	アクリル、ウレタン樹脂・キャンバス	
50	LAND SCAPE	2004	65.5 × 99.5	アクリル、ウレタン樹脂・キャンバス	
51	血痕	2007	72.7 × 60.6	油彩・キャンバス	
52	流域'99-MAY-26	1999	259 × 194	油彩・キャンバス	第54回行動美術展
53	構域01-05	2001	227 × 182	油彩、アクリル、クレパス・キャンバス	第56回行動美術展
54	構域01-06	2001	227 × 182	油彩、アクリル、クレパス・キャンバス	第28回行動大分作家展
55	視界2002-7	2002	194 × 259	アクリル、ウレタン樹脂・キャンバス	第57回行動美術展
56	時華-2003.7 青へのプロセス	2003	194 × 259	アクリル、ウレタン樹脂・キャンバス	第58回行動美術展
57	青域2004-7	2004	194 × 259	アクリル、ウレタン樹脂・キャンバス	第59回行動美術展
58	生域2006-7	2006	182 × 227	アクリル、ウレタン樹脂・キャンバス	第61回行動美術展
59	Green Plan	2007	182 × 227	油彩、アクリル、ウレタン樹脂・キャンバス	第34回行動大分作家展
60	生域2007-G	2007	182 × 227	アクリル、ウレタン樹脂・キャンバス	第62回行動美術展
61	生域-2008	2008	182 × 227	油彩、アクリル、ウレタン樹脂・キャンバス	第63回行動美術展

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	出品歴/所蔵他
62	生域-2008-II	2008	194 × 259	油彩、アクリル、ウレタン樹脂・キャンバス	第35回行動大分作家展
63	生域2009	2009	182 × 227	油彩、アクリル、ウレタン樹脂・キャンバス	第64回行動美術展
64	蘇生の森1	2009	162 × 162	油彩、アクリル、ウレタン樹脂・板	第36回行動大分作家展
65	蘇生の森2	2009	162 × 162	油彩、アクリル、ウレタン樹脂・板	第36回行動大分作家展
66	蘇生の森3	2009	162 × 130	油彩、アクリル、ウレタン樹脂・キャンバス	第36回行動大分作家展
67	蘇生の森4	2009	162 × 225	油彩、アクリル、ウレタン樹脂・キャンバス	第36回行動大分作家展
68	蘇生1	2010	162 × 162	油彩、アクリル、ウレタン樹脂・板	
69	蘇生2	2010	130 × 162	油彩、アクリル、ウレタン樹脂・板	
70	蘇生3	2010	131 × 162	油彩、アクリル、ウレタン樹脂・キャンバス	
71	蘇生4	2010	161 × 111	油彩、アクリル、ウレタン樹脂・キャンバス	
72	蘇生5	2010	91 × 116	油彩、アクリル、ウレタン樹脂・キャンバス	

### 3. 1. 4. ようこそ魔法の美術館 親子で楽しむ光のアート

概要 19世紀末以降第二次産業革命が進行後、1960年代以降には、コンピュータによる技術革新が飛躍的に進展し、大きな社会革新を促した。

こうした社会の動向は、美術にも大きな影響を与え、近代美術の急速な進展を促すと共に、1920年代にはアメリカに「キネティック・アート（動く芸術）」、1940年代にはイタリアに「ライト・アート（光の芸術）」を生み、これらは、1950年代後半から60年代にかけての大量消費社会の到来を背景として「ポップアート」が大きな注目を浴びる中、蛍光灯による光、モーターによる運動、音などを取り込み、さらに新たな展開を遂げた。

また、こうした動きは、特に1950年代半ば以降、日本の美術界にも大きな影響を与え、経済が高度成長を遂げる中、蛍光灯の急速な普及等により、光を利用した作品が広く制作されるようになり、さらに、1970年の「大阪万博」で大きな注目を浴びた後、コンピュータなどの電子機器を活用した新たな「光のアート」も次々と現れ、現在では、多くの現代美術家が新しい科学技術を活かした「光のアート」に挑んでいる。

本展では、見て、触って、参加して、楽しみながら、ゲーム感覚で、「光のアート」に親しんでいただくと共に、広く現代の「光のアート」の状況を紹介することを目的として開催した。

会 期 平成22年7月16日(金)～8月31日(日) 公開日数47日間

主 催 大分市美術館、大分合同新聞社

後 援 NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、OCT大分ケーブルテレコム

企画協力 ステップ・イースト

出品点数 21点

観覧者数 56,985人

関連記事 「ワクワクドキドキ全開 不思議な光のアート 魔法の美術館」  
『大分合同新聞』7月17日  
「科学のアート 21の魔法にかける 大分市美術館」  
『大分合同新聞』夕刊8月12日  
「ようこそ魔法の美術館～上～ plaplax「Cage for Kage」」  
『大分合同新聞』夕刊8月18日  
「ようこそ魔法の美術館～下～ 森脇裕之「光の波紋」」  
『大分合同新聞』夕刊8月19日  
「4万人を突破「魔法の美術館」展」『大分合同新聞』夕刊8月23日  
「魔法の美術館にぎわう 入場5万人目」『朝日新聞』8月30日

(担当 長田・岡村)

目録

No.	作者	作品名	備考
1	plaplax	鏡のヴィーナス	回転するミロのヴィーナスに文字やマークが照射され、周囲に反射する。
2	plaplax	Mirror Mirror on the Wall...	鏡の前に立つと、映った自分の姿の奥に動物や植物が現れる。
3	plaplax	Cage for Kage	白い柱の前を歩くと、クジラやゾウ、魚や鳥などの影が現れる。
4	松村誠一郎	Rabbit Mirror	画面の前を歩き、立ち止まると、自分の像が遅れて追いかけてくる。
5	松村誠一郎	Hop Step Junk	両端の箱に立ち、足踏みしたり、ジャンプしたりして、リズムを刻むと、そのリズムが音と映像で再生される。
6	関根雅人	ene-geometrix	容器の中の液体が熱によってさまざまな模様を描きだす。
7	そがあやの	Sound round	机の上に手をかざすと、なんと、ピアノが弾ける。
8	宮本和奈	ミラボン	黒い毛でおおわれたボールをゆっくり回すと、あたり一面に光の空間が現れる。
9	勝本雄一朗	雨刀大戦	スイッチを入れ、傘を振ると、あやしく光り、チャンバラの音が鳴り出す。
10	児玉幸子	Morpho Tower	磁力を持った黒い液体が、電磁波でコントロールされ、鉄のらせんを昇り降りする。
11	重田佑介	Low-Vision	虫メガネでのぞくと、黒い点が細かく動き、さまざまな物語が展開される。
12	重田佑介	お話の力学	ストーリー性を持つ映像が映し出される。
13	浅野耕平	Little Lights 10+1	試験管を持って、約4秒静止すると、先端が線香花火のように瞬く。
14	森脇裕之	Tea for Angel	テーブルの上に手をかざすと、手の影が緑色に光る。
15	森脇裕之	rayo=graphy	金色のパネルの前を歩くと、自分の影が赤く光る。
16	森脇裕之	Taiyo*graphy	網の前に立つと、虫の鳴き声のような音が鳴り出す。
17	森脇裕之	時花	回転する円盤の上に映し出された映像が、軌跡を残しながら徐々に消えていく。
18	森脇裕之	光の波紋	青白く光るパネルの前で体や手を動かすと、光と音が変化する。
19	真鍋大度／石橋素	fade out test	モニターの前に立ち、手前のボタンを押し3秒待つ、奥の壁に自分の顔が映し出される。
20	伏見再寧	suzukaze	木の箱を壁に向かってたおし、穴に息を吹きかけると、風車が回りだす。
21	真鍋大度／石橋素	command line wave	小さなボックスが音にあわせてさまざまに光る。

### 3. 1. 5. 秋山庄太郎 花逍遙—366日展

**概要** 秋山庄太郎が、晩年に取り組んだ「365日シリーズ」は、1990年の第1作《花—365日》から1997年の最終作《薔薇よ！Rose365》まで全6作に及び、秋山写真芸術の集大成。

本展では、この「365日シリーズ」の中から、1993年に発表された《花逍遙—366日》の全作品を一堂に展示。国内外で捉えた四季の「花」や「風景」作品を通じて、秋山が晩年に達した「美」の境地を紹介した。

**会期** 平成22年9月8日（水）～10月7日（日） 公開日数36日間

**主催** 大分市美術館、大分合同新聞社

**後援** NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、OCT大分ケーブルテレコム

**協力** 秋山庄太郎写真芸術館、秋山庄太郎写真芸術協会

**出品点数** 秋山庄太郎「花逍遙—366日」 366点セット

**観覧者数** 6,632人

**観覧料** 一般800(600)円／高大生600(400)円、中学生以下無料  
※( )内は20人以上の団体料金

**関連事業** ■講演会1（無料）

日時 平成22年9月8日 午後1時30分～午後3時

場所 美術館ハイビジョンホール

講師 上野正人氏（秋山庄太郎写真芸術館長）

演題 秋山庄太郎と写真芸術

参加者 166人（講演会後の展示解説参加者38名を含む）

■講演会2（無料）

日時 平成22年9月17日 午後1時30分～午後3時

場所 美術館ハイビジョンホール

講師 大崎輝彦氏（大分県美術協会写真部会長）

演題 秋山庄太郎の思い出

参加者 103人（講演会後の展示解説参加者24名を含む）

**展示解説** ■美術館職員による展示解説（要観覧料）

日時 会期中毎週水曜日 午後2時～

場所 企画展示室

参加者 79人

**関連記事** 「花の美術表現、多彩な写真」『大分合同新聞』夕刊9月8日  
「秋山庄太郎 花逍遙—366日展から～上～」『大分合同新聞』夕刊9月15日  
「本格的に花を撮影」『大分合同新聞』夕刊9月16日

「秋山庄太郎 花逍遙—366 日展から～下～」『大分合同新聞』夕刊 9 月 16 日  
河野公記「偉大なるアマ精神の結晶」『大分合同新聞』夕刊 9 月 30 日  
田村和子「心癒されて」『大分合同新聞』10 月 12 日  
「『自分』というものがあった」『大分合同新聞』10 月 27 日

(担当 岩尾)

目録

No.	作品名	発表年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
1	花逍遙—366 日	1993	35.2 × 45.7 他	ゼラチンシルバープリント	366 点セット

### 3. 1. 6. 宮崎県立美術館コレクションによる

#### シュルレアリスムー不条理と幻想の芸術世界

**概要** シュルレアリスムは、理性や常識からの精神の解放を唱え、1920年代フランスで興った芸術運動である。日本語で超現実主義と訳されるこの運動は、既成の秩序や常識などに反逆したダダイズムの精神を受け継ぎながら、美術にとどまらず文学、演劇、映画など各芸術分野に広がり、無意識や夢の世界、偶然性などを重視した。

本展は、宮崎県立美術館の全面協力を得て、同館が誇る西洋絵画コレクションのうち、シュルレアリスム運動に焦点をあて、シュルレアリスム 22 作家の作品 82 点と、シュルレアリスム運動とほぼ同時代に活躍した著名な 5 作家の作品 34 点、計 117 点を展示した。展示にあたっては、《ダダイズムからシュルレアリスムへ》、《シュルレアリスムの展開》、《同時代の巨匠たち》の 3 部構成とし、1 部と 2 部で、シュルレアリスム運動の展開を紹介し、3 部で同時代に活躍した作家の作品を紹介した。

**会期** 平成 22 年 10 月 22 日(金)～12 月 12 日(日) 公開日数 47 日間

**主催** 大分市美術館、大分合同新聞社

**後援** NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、エフエム大分、OCT 大分ケーブルテレコム

**企画協力** 宮崎県立美術館

**出品点数** 油彩画 17 点、版画 96 点、水彩他 4 点 計 117 点

**観覧者数** 6,965 人

**関連事業** ■講演会 (無料)

第 1 回 日時 10 月 24 日(日) 午後 2 時～午後 3 時 30 分

場所 美術館ハイビジョンホール

講師 高野明広氏 (宮崎県立美術館学芸課長)

演題 宮崎県立美術館コレクションの魅力

参加者 47 名

第 2 回 日時 11 月 21 日(日) 午後 2 時～午後 3 時 30 分

場所 美術館ハイビジョンホール

講師 菅章 (大分市美術館長)

演題 20 世紀美術におけるシュルレアリスム

参加者 52 名

**展示解説** ■美術館職員による展示解説 (要観覧料)

日時 会期中毎週水曜日 午後 2 時～

場所 企画展示室

参加者 48 人

関連記事 「不条理で幻想的な世界 宮崎県立美術館コレクション」  
『大分合同新聞』夕刊 10月22日  
「シュルレアリスムの魅力 高野明広・学芸課長が講演」  
『大分合同新聞』夕刊 11月8日  
十時良氏「シュルレアリスム展 発想の新鮮さ光る版画」(展評)  
『大分合同新聞』夕刊 11月11日  
「シュルレアリスム～上～ ルネ・マグリット「現実の感覚」」  
『大分合同新聞』夕刊 11月17日  
「シュルレアリスム～下～ ジュルジオ・デ・キリコ「イタリア広場・アリアド  
ネーノ目覚め」」  
『大分合同新聞』夕刊 11月18日

(担当 長田)



## 目録

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材
1	フランシス・ピカビア	イオ	1928-29	116.5 × 89.5	油彩・キャンバス
2	ジャン・アルプ	たがをはめ直された太陽	1966	34.5 × 32.7	木版・和紙
3	ジャン・アルプ	たがをはめ直された太陽	1966	30.4 × 24.1	木版・和紙
4	ジャン・アルプ	たがをはめ直された太陽	1966	27.0 × 21.3	木版・和紙
5	ジャン・アルプ	たがをはめ直された太陽	1966	34.8 × 34.2	木版・和紙
6	ジャン・アルプ	たがをはめ直された太陽	1966	25.5 × 22.1	木版・和紙
7	ジャン・アルプ	たがをはめ直された太陽	1966	35.2 × 34.4	木版・和紙
8	マルセル・デュシャン	トランクの箱シリーズE	1963	40.3 × 37.9	オブジェ・写真、紙、 プラスチック他
9	マン・レイ	女とその魚	1941	51.1 × 61.2	油彩・キャンバス
10	マン・レイ	デコラージュ	1965	39.2 × 28.0	コラージュ・ボール 紙、髪、ヘアピン他
11	マン・レイ	『回転扉』 I マイム	1972	51.4 × 34.1	シルクスクリーン・ 紙
12	マン・レイ	『回転扉』 II 長距離	1972	57.2 × 31.1	シルクスクリーン・ 紙
13	マン・レイ	『回転扉』 III オーケストラ	1972	53.0 × 34.3	シルクスクリーン・ 紙
14	マン・レイ	『回転扉』 IV 出会い	1972	54.1 × 36.0	シルクスクリーン・ 紙
15	マン・レイ	『回転扉』 V 伝説	1972	47.9 × 34.8	シルクスクリーン・ 紙
16	マン・レイ	『回転扉』 VI 水さし	1972	49.8 × 27.8	シルクスクリーン・ 紙
17	ジョルジオ・デ・キリコ	イタリア広場 ・アリアドネーの目覚め	1970年代	71.5 × 106.5	油彩・キャンバス
18	マックス・エルンスト	『博物誌』 海と雨	1926	42.9 × 26.6	コロタイプ・紙
19	マックス・エルンスト	『博物誌』 一瞥	1926	43.1 × 26.3	コロタイプ・紙
20	マックス・エルンスト	『博物誌』 葉の習性	1926	43.2 × 26.0	コロタイプ・紙
21	マックス・エルンスト	『博物誌』 種痘されたパン	1926	42.8 × 25.8	コロタイプ・紙
22	マックス・エルンスト	『博物誌』 14歳以下の稲妻	1926	43.0 × 26.0	コロタイプ・紙
23	マックス・エルンスト	『博物誌』 振子の起源	1926	43.2 × 26.2	コロタイプ・紙
24	マックス・エルンスト	『博物誌』 栗の木の出發	1926	25.9 × 43.0	コロタイプ・紙
25	マックス・エルンスト	『博物誌』 スフィンクスの厩舎の中で	1926	26.0 × 43.0	コロタイプ・紙
26	マックス・エルンスト	『博物誌』 光の輪	1926	26.2 × 43.3	コロタイプ・紙
27	マックス・エルンスト	『博物誌』 脱走者	1926	26.0 × 42.6	コロタイプ・紙
28	アンドレ・マッソン	庭師	1930	100.0 × 73.0	油彩・キャンバス
29	アンドレ・マッソン	雷雨	1938	46.5 × 55.1	油彩・キャンバス
30	ピエール・ロワ	旅	1938	73.0 × 49.8	油彩・キャンバス
31	ジョアン・ミロ	ムルロー工房 百年祭記念リトグラフ	1953	50.7 × 66.0	リトグラフ・紙

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材
32	ジョアン・ミロ	砂の女	1969	105.0 × 66.7	エッチング、アクアチント他・紙
33	ジョアン・ミロ	金の羽毛をもつとかけ	1971	33.4 × 48.1	リトグラフ・紙
34	ルネ・マグリット	白紙委任状	1966	38.5 × 45.7	グワッシュ・紙
35	ルネ・マグリット	現実の感覚	1963	172.5 × 116.0	油彩・キャンバス
36	クルト・セリグマン	バルコニーⅢ (集会)	1958	127.6 × 142.2	油彩・キャンバス
37	レオノール・フィニー	二つの頭蓋骨	1950	33.0 × 55.0	油彩・キャンバス
38	サルヴァドール・ダリ	『マルドロールの歌』より	1934	12.3 × 20.0	エッチング・紙
39	サルヴァドール・ダリ	『マルドロールの歌』より	1934	21.7 × 16.5	エッチング・紙
40	サルヴァドール・ダリ	『マルドロールの歌』より	1934	21.7 × 16.4	エッチング・紙
41	サルヴァドール・ダリ	『マルドロールの歌』より	1934	14.3 × 16.3	エッチング・紙
42	サルヴァドール・ダリ	『マルドロールの歌』より	1934	21.9 × 16.3	エッチング・紙
43	サルヴァドール・ダリ	『マルドロールの歌』より	1934	21.9 × 16.5	エッチング・紙
44	サルヴァドール・ダリ	『マルドロールの歌』より	1934	21.8 × 16.4	エッチング・紙
45	サルヴァドール・ダリ	『マルドロールの歌』より	1934	21.6 × 16.2	エッチング・紙
46	サルヴァドール・ダリ	『マルドロールの歌』より	1934	10.7 × 17.8	エッチング・紙
47	サルヴァドール・ダリ	『マルドロールの歌』より	1934	21.5 × 16.2	エッチング・紙
48	サルヴァドール・ダリ	『マルドロールの歌』より	1934	21.8 × 16.5	エッチング・紙
49	サルヴァドール・ダリ	『マルドロールの歌』より	1934	21.6 × 16.3	エッチング・紙
50	サルヴァドール・ダリ	『マルドロールの歌』より	1934	29.4 × 18.2	エッチング・紙
51	サルヴァドール・ダリ	『マルドロールの歌』より	1934	21.8 × 16.5	エッチング・紙
52	サルヴァドール・ダリ	『マルドロールの歌』より	1934	21.7 × 16.4	エッチング・紙
53	サルヴァドール・ダリ	『マルドロールの歌』より	1934	21.7 × 16.3	エッチング・紙
54	オスカル・ドミンゲス	地獄の機械	1937	92.0 × 73.0	油彩・キャンバス
55	ポール・デルヴォー	クロード・スパーク『鏡の国』のための連作「麗しき最後の日々」 パレ・ロワイヤル	1978-79	37.2 × 29.6	エッチング、水彩・紙
56	ポール・デルヴォー	クロード・スパーク『鏡の国』のための連作「麗しき最後の日々」 解剖室	1978-79	37.3 × 29.9	エッチング、水彩・紙
57	ポール・デルヴォー	クロード・スパーク『鏡の国』のための連作「醜い男」 醜い男	1978-79	38.3 × 29.9	エッチング、水彩・紙
58	ポール・デルヴォー	クロード・スパーク『鏡の国』のための連作「醜い男」 暖炉	1978-79	37.1 × 29.8	エッチング、水彩・紙
59	ポール・デルヴォー	クロード・スパーク『鏡の国』のための連作「嵐」 夢想家	1978-79	37.2 × 29.8	エッチング、水彩・紙
60	ポール・デルヴォー	クロード・スパーク『鏡の国』のための連作「嵐」 出現	1978-79	37.2 × 29.8	エッチング、水彩・紙

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材
61	ドロテア・タニング	日曜の午後	1953	100.0 × 65.0	油彩・キャンバス
62	レオノーラ・キャリントン	狩猟	1942	48.1 × 93.8	油彩・キャンバス
63	ロベルト・マッタ	吸引の芽	1954	204.4 × 208.0	油彩・キャンバス
64	ロベルト・マッタ	女はすべてこうしたもの(1)	1970	47.4 × 37.7	エッチング、アクアチント・紙
65	ロベルト・マッタ	女はすべてこうしたもの(2)	1970	47.5 × 37.8	エッチング、アクアチント・紙
66	ロベルト・マッタ	女はすべてこうしたもの(9)	1970	47.5 × 37.8	エッチング、アクアチント・紙
67	ロベルト・マッタ	女はすべてこうしたもの(10)	1970	47.4 × 37.7	エッチング、アクアチント・紙
68	ロベルト・マッタ	解放された権利 1	1971	21.9 × 15.9	エッチング、アクアチント・紙
69	ロベルト・マッタ	解放された権利 2	1971	27.5 × 18.0	エッチング、アクアチント・紙
70	ロベルト・マッタ	解放された権利 3	1971	22.0 × 15.8	エッチング、アクアチント・紙
71	ロベルト・マッタ	解放された権利 4	1971	21.9 × 15.9	エッチング、アクアチント・紙
72	ロベルト・マッタ	アメリカの言葉	1987	19.5 × 51.5	エッチング、アクアチント・紙
73	ロベルト・マッタ	アメリカの言葉	1987	19.5 × 51.5	エッチング、アクアチント・紙
74	ハンス・ベルメール	ノラ	1948	25.0 × 32.0	エリオグラヴュール・紙
75	ハンス・ベルメール	二人の女友達	1968	28.0 × 24.2	エリオグラヴュール・紙
76	ハンス・ベルメール	潮の間に	1968	30.7 × 43.8	エリオグラヴュール・紙
77	ハンス・ベルメール	哀れなアン	1968	30.6 × 26.8	エリオグラヴュール・紙
78	ハンス・ベルメール	脱衣	1950	34.0 × 24.5	リトグラフ・紙
79	ハンス・ベルメール	連結された手	1954	28.2 × 38.4	リトグラフ・紙
80	ハンス・ベルメール	ドリアンヌ	1969	29.3 × 22.7	エッチング・紙
81	ヴォルス	無題	1945	24.3 × 16.2	水彩絵具、インク、グワッシュ・紙
82	ケイ・セイジ	稲妻の巣	1950	99.0 × 81.5	油彩・キャンバス
83	ヴィフレド・ラム	秘密の儀式	1950	152.5 × 107.0	油彩・キャンバス
84	ポール・シニャック	サン・トロペの松林	1892	64.6 × 80.5	油彩・キャンバス
85	ピエール・ボナール	葡萄を持つ女	1911-12	73.7 × 61.6	油彩・キャンバス
86	ピエール・ボナール	葡萄	1942	33.0 × 25.3	リトグラフ・紙
87	ピエール・ボナール	漁港	1943	32.2 × 50.2	リトグラフ・紙
88	ピエール・ボナール	花	1943	64.5 × 40.5	リトグラフ・紙
89	ピエール・ボナール	暖房機	1943	64.3 × 50.0	リトグラフ・紙
90	ピエール・ボナール	海岸	1944	33.5 × 50.5	リトグラフ・紙
91	ピエール・ボナール	後ろ姿の若い娘	1944	64.9 × 52.0	リトグラフ・紙

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材
92	パブロ・ピカソ	サルタンバンクシリーズ 貧しき食事	1904	46.3 × 37.8	エッチング・紙
93	パブロ・ピカソ	サルタンバンクシリーズ 女の顔	1905	11.6 × 8.4	エッチング・紙
94	パブロ・ピカソ	サルタンバンクシリーズ 貧しき人々	1905	23.8 × 18.0	エッチング・紙
95	パブロ・ピカソ	サルタンバンクシリーズ 男の胸部	1905	12.0 × 9.2	ドライ・ポイント・紙
96	パブロ・ピカソ	サルタンバンクシリーズ 二人のサルタンバンク	1905	12.1 × 9.0	ドライ・ポイント・紙
97	パブロ・ピカソ	サルタンバンクシリーズ 女の横顔	1905	29.2 × 25.1	ドライ・ポイント・紙
98	パブロ・ピカソ	サルタンバンクシリーズ サーカスで	1905	22.1 × 14.0	ドライ・ポイント・紙
99	パブロ・ピカソ	サルタンバンクシリーズ 母の化粧	1905	23.5 × 17.8	エッチング・紙
100	パブロ・ピカソ	サルタンバンクシリーズ サロメ	1905	40.0 × 34.8	ドライ・ポイント・紙
101	パブロ・ピカソ	サルタンバンクシリーズ ダンス	1905	18.5 × 23.2	ドライ・ポイント・紙
102	アンリ・マティス	版画集『ジャズ』 道化師	1947	42.2 × 65.2	ポショワール・紙
103	アンリ・マティス	版画集『ジャズ』 サーカス	1947	36.2 × 55.8	ポショワール・紙
104	アンリ・マティス	版画集『ジャズ』 馬・曲馬師・道化	1947	42.1 × 65.2	ポショワール・紙
105	アンリ・マティス	版画集『ジャズ』 狼	1947	42.0 × 63.3	ポショワール・紙
106	アンリ・マティス	版画集『ジャズ』 ハート	1947	37.8 × 61.1	ポショワール・紙
107	アンリ・マティス	版画集『ジャズ』 ピエロの葬式	1947	41.2 × 65.2	ポショワール・紙
108	アンリ・マティス	版画集『ジャズ』 空中ブランコ	1947	42.2 × 65.8	ポショワール・紙
109	アンリ・マティス	版画集『ジャズ』 カウボーイ	1947	42.1 × 65.5	ポショワール・紙
110	アンリ・マティス	版画集『ジャズ』 ナイフを投げる男	1947	40.6 × 65.5	ポショワール・紙
111	アンリ・マティス	版画集『ジャズ』 渦	1947	42.2 × 64.7	ポショワール・紙
112	マリノ・マリーニ	『マリノ・マリーニ版画 集』舞台のモチーフ	1960	46.1 × 35.8	エッチング、ドライ・ポイント・紙
113	マリノ・マリーニ	『マリノ・マリーニ版画 集』分解	1967	40.4 × 31.7	ドライ・ポイント・紙
114	マリノ・マリーニ	『マリノ・マリーニ版画 集』三人の踊り娘	1968	48.1 × 34.8	エッチング・紙
115	マリノ・マリーニ	『マリノ・マリーニ版画 集』道化師の道化	1970	34.2 × 39.7	エッチング・紙
116	マリノ・マリーニ	『マリノ・マリーニ版画 集』楽しきトリオ	1970	39.5 × 34.7	エッチング・紙
117	マリノ・マリーニ	『マリノ・マリーニ版画 集』勇士	1971	41.8 × 31.8	エッチング・紙

### 3. 1. 7. 第59回高文連 美術・書道・写真 中央展

概要 大分県高等学校文化連盟と共催して開催した展覧会。写真展には41校、美術・写真展には40校が参加し、日々の創作活動に取り組む高校生たちの若々しくエネルギーギッシュな作品を紹介した。

#### 【書道展】

会 期 平成22年12月16日(木)～12月19日(日) 公開日数4日間

主 催 大分県高等学校文化連盟、大分市美術館

後 援 大分県教育委員会、大分県芸術文化振興会議、大分県美術協会、大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、OCT大分ケーブルテレコム、シティ情報大分

出品点数 41校 263点

観覧者数 766人

観 覧 料 無料

#### 【美術・写真展】

会 期 平成22年12月21日(火)～12月25日(土) 公開日数5日間

主 催 大分県高等学校文化連盟、大分市美術館

後 援 大分県教育委員会、大分県芸術文化振興会議、大分県美術協会、大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、OCT大分ケーブルテレコム、シティ情報大分

出品点数 美術35校 219点  
写真5校 14点

観覧者数 880人

観 覧 料 無料

(担当 大神)

### 3. 1. 8. 浮世絵美人画展 江戸の華- 春信・清長から歌麿・豊国・国貞・広重まで

**概要** 浮世絵は、江戸時代の後半、庶民の趣向、流行を反映して、広く流布し、中でも、17世紀後半の浮世絵草創期より、遊里の人々の姿を頻りに描き出した浮世絵美人画は、代表的なテーマとして広く人々の人気を博した。

特に、18世紀後半に、鈴木春信が、多色摺りの錦絵を創始して、その表現が急速に発展すると、18世紀末から19世紀初期にかけては、鳥居清長、喜多川歌麿らが、八頭身美人や、豪華かつその性情にせまる大首絵の女性象を次々と発表し、浮世絵美人画は黄金時代を迎えた。

19世紀前半以降は、不安定な世情を反映して、爛熟期へとむかいながらも、歌川国貞、渓斎英泉らが、仇で艶のある生々しい画風を展開し、19世紀中頃から幕末にかけては、風景画家として著名な歌川広重が、豊かな風景描写を伴う美人画を数々制作した。

本展では、春信、歌麿、広重らの18世紀後半から幕末までの肉筆画、版画による、美人画129点を、江戸の美人とおいらん、四季の美人等のテーマ別に展覧し、江戸の人々が憧れた、華麗かつ、粹で仇、そして妖艶な、浮世絵美人画の魅力を紹介した。

**会期** 平成23年1月6日(木)～2月20日(日) 公開日数41日

**主催** 大分市美術館、大分合同新聞社

**後援** NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、OCT大分ケーブルテレコム

**企画協力** ステップ・イースト

**出品点数** 129点

**観覧者数** 6,257人

**観覧料** 一般800(600)円／高大生600(400)円、中学生以下無料  
※( )内は20名以上の団体料金

**関連行事** ■鑑賞講座 浮世絵美人画展鑑賞講座

日時 1月22日、2月12日(土) 午後2時～

場所 美術館ハイビジョンホール

講師 宮崎治(美術館美術振興課専門員)

演題 浮世絵美人画の世界

参加者 127人

**展示解説** ■美術館職員による展示解説 (要観覧料)

日時 会期中毎週水曜日 午後2時～

場所 企画展示室

参加者 221人

**印刷物** ・ポスターB2版・チラシA4版

**関連記事** 「競い咲く 江戸の美人 浮世絵展始まる」『朝日新聞』夕刊10月21日

「浮世絵美人画展から 喜多川歌麿 富本豊雛」『大分合同新聞』夕刊1月13日

「浮世絵美人画展から 歌川広重 見立浮ふね 隅田川の渡」『大分合同新聞』夕刊 1月14日

「浮世絵美人画展 大分市美術館で開催中」『大分合同新聞』夕刊 1月20日

(担当 宮崎)

## 目録

## 肉筆画

No.	作者	作品名	寸法 (cm)	技法・素材
1	鳥文斎栄之	小野小町雨乞	87.5 × 30.8	絹本着色
2	玄珠斎栄京	雪中傘美人	80.5 × 33.1	絹本着色
3	喜多川藤麿	見立六歌仙	110.0 × 41.5	絹本着色
4	蘭茗斎	桜下太夫	80.5 × 25.8	絹本着色
5	喜多川月麿	三味線芸者	111.2 × 44.0	絹本着色
6	菊川英山	拳遊びの三美人	64.0 × 89.6	絹本着色
7	溪斎英泉	糸仙人と洗濯女	84.8 × 52.0	紙本着色
8	歌川豊広	団扇を持つ女	87.8 × 27.0	紙本着色
9	歌川豊国	金魚玉を持つ女	87.6 × 32.2	絹本着色
10	歌川国久	雪の大川畔を急ぐ芸者	4.2 × 39.4	絹本着色
11	歌川国貞	辰巳芸者	68.5 × 28.5	絹本着色
12	歌川国貞	北国遊女	68.5 × 28.5	絹本着色
13	歌川国直	亀井戸天神太鼓橋	87.2 × 38.2	絹本着色
14	歌川国直	納涼洗髪の女	81.9 × 75.0	絹本着色
15	歌川貞景	洗濯女とほととぎす	99.2 × 31.1	絹本着色
16	歌川国宗	美艷仙女香	90.0 × 29.0	絹本着色
17	蹄斎北馬	年始廻り芸者	82.7 × 33.7	絹本着色
18	抱亭五清	団扇を持つ女	81.8 × 30.9	絹本着色
19	磯野文斎	歯をみがく女	65.0 × 27.9	紙本着色
20	雪丸	金魚玉	122.6 × 37.0	紙本着色
21	歌川広恒	懐中鏡を持つ女	103.9 × 26.6	紙本着色
22	歌川広重	化粧する女	61.2 × 26.5	紙本着色
23	春川五七	立美人	124.0 × 27.5	紙本着色
24	鶴雲亭北山	雪の情景	97.5 × 28.4	紙本着色
25	千嶺	蚊張美人	91.3 × 31.5	絹本着色
26	月斎歌政	雪の橋上の女たち	188.0 × 60.0	絹本着色
27	歌川芳秀	渡し場の芸者	91.5 × 32.0	絹本着色
28	歌川広重	辰巳芸者	150.0 × 45.0	紙本着色
29	葛飾北鼎	手鏡を見る女性	150.0 × 45.0	絹本着色
30	柳々居辰斎	おいらん	150.0 × 45.0	絹本着色



No.	作者	作品名	寸法 (cm)	技法・素材
31	歌川国周	地獄太夫	150.0 × 45.0	絹本着色
32	抱亭五清	懐中鏡を見る女性	170.0 × 60.0	絹本着色
33	西川祐信	鯨とおいらん	130.0 × 50.0	紙本着色
34	元広	猫と女性	180.0 × 70.0	紙本着色
35	歌川国芳	ほととぎすと遊女	170.0 × 60.0	紙本着色
36	蹄斎北馬	女十二態 (十二図)	28.0 × 360.0	絹本着色

ミスお江戸とおいらん

No.	作者	作品名	寸法 (cm)	技法・素材
37	鈴木春信	笠森お仙		間判錦絵
38	鈴木春信	風流江戸八景・浅草晴嵐(本柳屋お藤)		間判錦絵
39	北尾政演	吉原傾城新美人合自筆鑑		大判錦絵(二枚続)
40	喜多川歌麿	青楼十二時・寅の刻		大判錦絵
41	喜多川歌麿	富本豊雛		大判錦絵
42	喜多川歌麿	小伊勢屋おちゑ(チリメン絵)		間判縮緬絵
43	鳥居清政	高嶋おひさ		大判錦絵

化粧鏡競艶

No.	作者	作品名	寸法 (cm)	技法・素材
44	喜多川歌麿	婦人相学拾躰・かねつけ		大判錦絵
45	喜多川歌麿	娘日時計・巳ノ刻		大判錦絵
46	喜多川歌麿	教訓親の目鑑・ぐうたら兵衛		大判錦絵
47	二代喜多川歌麿	東風流川添柳		大判錦絵
48	溪斎英泉	美人会中鏡・時世六佳撰		大判錦絵
49	溪斎英泉	今容姿		大判錦絵
50	溪斎英泉	化粧図		大判錦絵
51	勝川春扇	楊枝をくわえた女		長絵錦絵
52	歌川国安	歯みがき		大判錦絵
53	歌川国安	鏡台前		大判錦絵
54	鳥居清長	色競艶婦姿・鏡台		中判錦絵
55	歌川国貞	当世美人合・身じまい芸者		大判錦絵
56	歌川国貞	当世美人合・かこみ		大判錦絵
57	歌川国貞	今風化粧鏡・口紅		大判錦絵
58	歌川国貞	今風化粧鏡・かねつけ		大判錦絵

No.	作者	作品名	寸法 (cm)	技法・素材
59	歌川国貞	今風化粧鏡・結びあげ		大判錦絵
60	歌川国貞	今風化粧鏡・毛抜き		大判錦絵
61	歌川国貞	当世三十二相・しまひができ相		大判錦絵
62	歌川国芳	山海愛度図会・えりをぬきたい		大判錦絵
63	歌川国芳	山海目出たい図会・くせが直したい		大判錦絵
64	歌川貞虎	東都七福詣の内・深川木場恵比須		大判錦絵
65	二代歌川豊国	風流東姿十二支・洗い髪		大判錦絵
66	国貞改三代歌川豊国	江戸名所百人美女・今川はし		大判錦絵
67	二代歌川豊国	風流東姿十二支・歯みがき		大判錦絵
68	玉川舟調	うちわ美人		大判錦絵
69	鳥居清長	色競艶婦姿・風呂		中判錦絵
70	鳥居清峯	風流五葉松		大判錦絵
71	二代喜多川歌麿	湯上り美人		長絵錦絵
72	歌川国周	艶姿化粧自慢・化粧		大判錦絵
73	歌川芳幾	時世粧年中行事之内・競細腰雪柳風呂		大判錦絵(三枚続)

見立小野小町伝説

No.	作者	作品名	寸法 (cm)	技法・素材
74	鈴木春重	風流七小町・志みず		間判錦絵
75	鈴木春重	風流七小町・雨乞		間判錦絵
76	歌川豊国	今やう娘七小町・雨こひ小まち		大判錦絵
77	歌川豊国	今やう娘七小町・そとは小まち		大判錦絵
78	歌川豊国	今やう娘七小町・あふむ小まち		大判錦絵
79	歌川豊国	今やう娘七小町・草紙洗小まち		大判錦絵
80	歌川豊国	今やう娘七小町・関寺小まち		大判錦絵
81	歌川豊国	今やう娘七小町・清水小まち		大判錦絵
82	歌川豊国	今やう娘七小町・かよひ小まち		大判錦絵

おらんだ趣味 びーどろと洋風表現

No.	作者	作品名	寸法 (cm)	技法・素材
83	喜多川歌麿	当世好物八景・さわき好		大判錦絵
84	喜多川秀麿	金魚玉を遊ぶ若衆と娘		間判錦絵
85	歌川豊広	拳遊びの二美人		大判錦絵(二枚続)
86	晩器	五郎時宗とけはい坂少将		柱絵錦絵

No.	作者	作品名	寸法 (cm)	技法・素材
87	歌川国貞	切子燈炉・紅毛鳥・ぎやまん船		大判錦絵(三枚続)
88	歌川国貞	紅毛油画名所盡・真崎		大判錦絵
89	歌川国安	風流娘手遊		大判錦絵
90	溪斎英泉	おゐらんだゑ・やげんぼり		大判錦絵
91	溪斎英泉	おゐらんだかがみ・日本堤景		大判錦絵

雪月花

No.	作者	作品名	寸法 (cm)	技法・素材
92	歌川豊国	三美人・雪		大判錦絵
93	歌川豊国	三美人・月		大判錦絵
94	歌川豊国	三美人・花		大判錦絵
95	勝川春扇	雪		大判錦絵
96	勝川春扇	月		大判錦絵
97	勝川春扇	花		大判錦絵

四季の女

No.	作者	作品名	寸法 (cm)	技法・素材
98	二代喜多川歌麿	江之島蛸獵之図		大判錦絵(三枚続)
99	勝川春朗(葛飾北斎)	風流四季の月・なつ		中判錦絵
100	歌川国直	夏		大判錦絵
101	歌川豊国	両国花火之図		大判錦絵(六枚続)
102	溪斎英泉	両国夕涼之図		大判錦絵(三枚続)
103	溪斎英泉	両国船遊び		大判錦絵(三枚続)
104	溪斎英泉	浮世風俗美女競		大判錦絵
105	溪斎英泉	風流五節美人合・文月		大判錦絵
106	歌川国貞	船宿渡し場		大判錦絵(三枚続)
107	歌川国丸	蚊帳の図		大判錦絵(三枚続)
108	歌川国芳	暑中の夕立		大判錦絵(三枚続)
109	歌川国景	美人千句合・夕立や		大判錦絵
110	歌川広重	江戸名所四季の脉・高輪月の景		大判錦絵(三枚続)
111	窪俊満	六玉川之内・砧		大判錦絵
112	鈴木春信	紀友則		間判錦絵
113	磯田湖竜斎	風流見立座敷八景・塗桶暮雪		間判錦絵
114	菊川英山	風流名所雪月花・雪		大判錦絵

No.	作者	作品名	寸法 (cm)	技法・素材
115	溪斎英泉	江戸砂子逢身八契		大判錦絵
116	溪斎英泉	美艷仙女香 (夜鷹)		大判錦絵
117	溪斎英泉	雪の娘		長絵錦絵
118	勝川春扇	江戸八景ノ内・隅田川の暮雪		大判錦絵 (三枚続)
119	歌川国丸	湯屋の前		大判錦絵 (三枚続)
120	歌川国貞	神無月はつ雪のそうか		大判錦絵 (三枚続)
121	歌川国丸	夜鷹		大判錦絵
122	歌川広重	見立浮ふね・隅田川の渡		大判錦絵
123	歌川国直	冬		大判錦絵

風景のなかの女

No.	作者	作品名	寸法 (cm)	技法・素材
124	歌川国貞	楼上三美人・深川の月		大判錦絵 (三枚続)
125	歌川広重	東都名所・両国夕すずみ		大判錦絵 (三枚続)
126	歌川国安	東都名所ノ内・梅若塚木母寺		大判錦絵
127	歌川国安	東都名所ノ内・不忍池		大判錦絵
128	歌川国安	東都名所ノ内・深川本舟		大判錦絵
129	歌川国安	東都名所ノ内・洲崎		大判錦絵

### 3. 1. 8. 第45回 大分市美術展[公募展]

概要 洋画・版画/日本画/書/写真/彫刻/工芸/デザインの7部門で作品公募を行い、出品作品を企画展示室、ホワイエ、常設棟で展示し、広く市民に紹介した。

会期 平成23年3月4日(金)～3月27日(日) 公開日数22日

主催 大分市、大分市教育委員会、大分市美術展運営委員会

後援 大分県美術協会、アート・ブラザー、国際ソロプチミスト大分、大分合同新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、エフエム大分、OCT 大分ケーブルテレコム

出品点数 504点

観覧者数 5,570人

観覧料 無料

関連記事 「あすから大分市美展」『大分合同新聞』3月3日

(担当 岩尾)

### 3. 2. 常設展

#### 3. 2. 1. 第1期常設展

(常設展示室2 前期：5月30日(日)まで・後期：6月1日(火)から)

■常設展示室1 近・現代の日本画 高山辰雄記念室  
異国を描く

No.	作者	作品名	制作	寸法(cm)	技法・素材	備考
1	幸松春浦	風雨渡江図	1925	44.5 × 120.7	紙本墨画	
2	福田平八郎	水蜜桃	1920頃	133.2 × 41.9	絹本着色	
3	福田平八郎	白梅眼白	1940頃	45 × 65	紙本着色	
4	福田平八郎	桃	1959	33.7 × 44.3	紙本着色	寄託品
5	福田平八郎	茄子瓜	1936	33.4 × 43.5	紙本着色	
6	高山辰雄	立春	1937	42.8 × 56.8	絹本着色	高山辰雄氏寄贈
7	高山辰雄	赤いセーター	1952	70.5 × 57.1	絹本着色	高山辰雄氏寄贈
8	高山辰雄	子	1950	103.1 × 75.4	絹本着色	高山辰雄氏寄贈
9	高山辰雄	風景	1955頃	38.4 × 61	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
10	高山辰雄	唐詩選 峨眉山月歌	1968	画35×53.8/ 書55.8×38	リトグラフ	
11	高山辰雄	唐詩選 少年行	1968	画35.5×54/ 書55.8×38	リトグラフ	
12	高山辰雄	おひるどき	1994	36.5 × 55	リトグラフ	高山辰雄氏寄贈
13	高山辰雄	春の浅い日(紹興)	1992	37 × 55	リトグラフ	高山辰雄氏寄贈
14	高山辰雄	玄乃玄 1	2006	各55.5 × 37	リトグラフ	(有)丸栄堂寄贈
15	高山辰雄	玄乃玄 2	2006	各55.5 × 37	リトグラフ	(有)丸栄堂寄贈
16	高山辰雄	玄乃玄 3	2006	各55.5 × 37	リトグラフ	(有)丸栄堂寄贈
17	高山辰雄	玄乃玄 4	2006	各55.5 × 37	リトグラフ	(有)丸栄堂寄贈
18	高山辰雄	玄乃玄 5	2006	各55.5 × 37	リトグラフ	(有)丸栄堂寄贈
19		高山辰雄愛用遺品 筆・岩絵具等				高山由紀子氏寄贈
20	高山辰雄	フィレンツェへ出る	1978頃	32 × 178	紙本墨画	(株)トキハ寄贈
21	高山辰雄	春宵	1990代前半頃	91 × 68.8	絹本着色	寄託品
22	高山辰雄	燈	1985	211.5 × 139.5	紙本着色	
23	高山辰雄	雲煙に飛翔	2001	174.2 × 727.2	紙本着色	
24	高山辰雄	少女	1992	100 × 75.5	紙本着色	
25	秋野不矩	民家(ブナネシュワール オールドタウンB)	1993	110 × 284	紙本着色	
26	畠中光享	釈尊十大弟子(10点 組の内4点)	1984-86	各190 × 95	紙本着色	
27	鈴木忠実	霧を行く	2002	160.5 × 259.7	紙本着色	鈴木忠実氏寄贈

No.	作者	作品名	制作	寸法 (cm)	技法・素材	備考
28	大森運夫	ロマネスクの祭壇	1969	52.2 × 71.8	紙本着色	高山淳吉氏寄贈
29	田淵俊夫	大地 I	1994	180 × 180	紙本着色	
30	千住 博	ホーラ (Horus)	1991	162.1 × 227.3	紙本着色	
31	野村義照	モンソー公園	1992	112.1 × 162.1	紙本着色	
32	今井文二	薔薇瓶	1982	65 × 45.4	紙本着色	
33	幸松春浦	老子	1936	237.2 × 117	紙本墨画淡彩	
34	横山大観	後赤壁	1902	167.3 × 70.7	絹本着色	
35	白須心華	鍾馗図	1917	123.6 × 34	絹本着色	
36	富田溪仙	歳寒四友	不詳	137 × 35	紙本着色	
37	首藤雨郊	山水図 (三幅対)	1933	(画) 120 × 25.3 (書) 120 × 21	紙本墨画	
38	橋本関雪	江城晚帰図	制作不詳	162.5 × 52	絹本着色	
39	白須心華	春景山水	1913	135.5 × 51	絹本着色	藤原文子氏寄贈
40	高倉観崖	春秋山水図	大正～昭和前期	各115.2 × 25.1	絹本着色	
41	林 功	江南光風	1991	各166.8 × 184	絹本着色	
42	荒井 孝	懸空寺	1985	168.5 × 214.5	紙本着色	
43	堀 泰明	西域紀行・踊子	1988	185 × 230	紙本着色	
44	堀 泰明	西域紀行・家族	1988	185 × 230	紙本着色	
45	南 聡	珪化木	1992	181.8 × 227.3	紙本着色	
46	小嶋悠司	地	1987	169 × 309	麻布着色	
47	釘宮封岩	作品A-3	1979	186 × 190	紙本着色	
48	千住 博	ウォーターフォール	1996	194.2 × 130.4	紙本着色	
49	上野未央	O5創(いのち) - III	2005	181.6 × 227.3	紙本着色	上野未央氏寄贈
50	鈴木忠実	飛翔	1993	162.1 × 262	紙本着色	

■常設展示室2 近世の絵画・南画 (文人画) 富春館記念室  
テーマ (前期) 近代大分の南画

No.	作者	作品名	制作	寸法 (cm)	技法・素材	備考
1	田能村竹田	富士図	1819	127 × 42	絹本着色	重要文化財
2	帆足杏雨	淡彩山水図	1837頃	139.8 × 37.4	紙本着色	藤原文子氏寄贈
3	帆足杏雨	峻嶺飛泉図・霜林晚 靄図	1865	各173 × 52	絹本墨画淡彩・ 絹本墨画	
4	田能村直入	羅浮仙女図	明治時代	114.5 × 36.8	絹本着色	帆足市太氏寄贈
5	平野五岳	松林山水図	1868	149 × 66	絹本墨画	

No.	作者	作品名	制作	寸法 (cm)	技法・素材	備考
6	小栗布岳	花鳥図	1897	179.6 × 71.7	絹本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
7	梶山九江	松林山水図	1885	172 × 85	絹本墨画淡彩	
8	宮崎碩山	松林山水図	1921	136.6 × 42	絹本着色	浦邊宗紀氏寄贈
9	藤 米岳	竹石霜柯図	1880	112.4 × 30.9	紙本墨画淡彩	
10	加納雨篷	水墨山水図	不詳	44.6 × 67.8	紙本墨画	浦邊宗紀氏寄贈
11	甲斐虎山	富岳瑞雲図	1921~38	181.1 × 94.8	紙本着色	
12	白須心華	秋晚帰樵図	1916	144 × 41.7	絹本着色	
13	秦 米陽	寒林独坐図	1927	128 × 42	絹本墨画淡彩	浦邊宗紀氏寄贈
14	田近竹邨	桐陰遺興図	1917	170.5 × 52	絹本着色	
15	平野古桑	雨後観瀑図	1924	173.3 × 52.2	絹本着色	
16	牧 皎堂	山水図	大正~昭和時代	136 × 32	紙本墨画淡彩	
17	首藤雨郊	幽居不知門外事	1938	129 × 34.2	絹本墨画	浦邊宗紀氏寄贈
18	幸松春浦	清磨呂参宮図	1940代	115 × 33.6	絹本墨画淡彩	

#### テーマ (後期) 狩野派の絵画

No.	作者	作品名	制作	寸法 (cm)	技法・素材	備考
1	狩野探幽	聖王図	1671	119.7 × 69.3	絹本着色	帆足市太氏寄贈
2	狩野安信	達磨・龍図	江戸時代前期	各104.1 × 40.8	紙本墨画	帆足市太氏寄贈
3	狩野周信	舟中人物・芦雁図	江戸時代中期	各44.4 × 33.7	絹本墨画	帆足市太氏寄贈
4	櫛田永養	鷹図屏風(一双)	江戸時代前期	各172.5 × 185	紙本金地墨画着色	帆足市太氏寄贈
5	狩野常信	高士囲碁喫茶図屏風	江戸時代前期	各171.5 × 379.4	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
6	狩野典信	遊鹿図	江戸時代中期	154.1 × 88.1	絹本着色	帆足市太氏寄贈
7	田能村竹田	白鶴図	1822	各164.3 × 41.5	絹本着色	重要文化財
8	帆足杏雨	松下納涼図	1842	142 × 56.4	絹本墨画淡彩	
9	帆足杏雨	溪山晴翠図	1849	153.7 × 72.5	絹本墨画淡彩	

#### ■常設展示室3 近代・現代の洋画

##### テーマ 大分の美術 1980年代の状況

No.	作者	作品名	制作	寸法 (cm)	技法・素材	備考
1	宇治山哲平	爽	1982	129.6 × 129.8	油彩・キャンバス	
2	広瀬通秀	アッジジ幻想	1985	181.8 × 227.3	油彩・キャンバス	廣瀬通秀氏寄贈
3	岩尾秀樹	山羊	1990	181.8 × 227.3	油彩・キャンバス	岩尾秀樹氏寄贈
4	脇 正人	コンポジションB	1986	145.5 × 112.1	油彩・キャンバス	



No.	作者	作品名	制作	寸法 (cm)	技法・素材	備考
5	井上佐之助	マイスペース 80	1980	45 × 63.5	腐食紙	首藤政美氏寄贈
6	井上佐之助	マイスペース 80	1980	45 × 63.5	段ボール、版	首藤政美氏寄贈
7	神田千里	連鎖する形	1982	112.1 × 145.5	油彩・キャンバス	
8	飯尾寿夫	海辺のセレモニー	1981	162.1 × 162.1	油彩・キャンバス	飯尾寿夫氏寄贈
9	江藤 明	MY SPACE	1981	194 × 1940	油彩・キャンバス	
10	十時 良	地表の風 9 4 - 6	1994	162.1 × 162.1	木炭・和紙、アルミホイル、他	十時良氏寄贈
11	御手洗賢司	予感	1992	110 × 144	油彩・キャンバス	御手洗賢司氏寄贈
12	渡辺恭英	断裂II	1985	192.5 × 160.5	油彩・キャンバス	
13	谷口晶之	白と黒' 78-1	1978	160 × 130	油彩・キャンバス	谷口晶之氏寄贈
14	山崎哲一郎	地質時代	1983	163 × 163	油彩・キャンバス	山崎哲一郎氏寄贈
15	岩尾善幸	夢の錯覚	1993	162 × 160	アクリル・キャンバス	岩尾善幸氏寄贈
16	仲町謙吉	きものの女	1961	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	
17	仲町謙吉	仏頭II	1983	130.3 × 162.1	油彩・キャンバス	仲町謙吉氏寄贈
18	仲町謙吉	仏頭I	1983	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	仲町謙吉氏寄贈
19	仲町謙吉	宙	1984	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	仲町謙吉氏寄贈
20	仲町謙吉	仏II	1983	193.5 × 258	油彩・キャンバス	仲町謙吉氏寄贈
21	仲町謙吉	仏	1985	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	仲町謙吉氏寄贈
22	仲町謙吉	耀	1994	116.7 × 90.9	油彩・キャンバス	仲町謙吉氏寄贈
23	仲町謙吉	咩	1992	116.7 × 91	油彩・キャンバス	仲町謙吉氏寄贈

■常設展示室4 竹工芸

テーマ 編組と表現

No.	作者	作品名	制作	寸法 (cm)	技法・素材	備考
1	本田卿雲斎	篠竹荒編花籠「草垣」	1988	高25 径23.5	竹	
2	安倍基楽	波の光	2002	103 × 74	竹・木	
3	生野祥雲斎	手付果物籃	1956頃	高22 34.5×20.7	竹・籐	
4	生野祥雲斎	忍竹柵網代編文庫	1930頃	高8.2 35.4×28	竹・籐	
5	生野徳三	白竹の籠 萌芽	1981	47 × 35	竹・籐	生野徳三氏寄贈
6	生野祥雲斎	無双編盛籃	1963頃	高9 径30	竹	
7	田辺幸竹斎	篠竹つぶし花籠「蹲」	2001	高34 径50	竹・籐	

### 3. 2. 2. 第2期常設展

(常設展示室2 前期：11月14日(日)まで・後期：11月16日(火)から)

#### ■常設展示室1 近・現代の日本画 高山辰雄記念室

テーマ 京都で活躍する郷土ゆかりの画家たち

No.	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	技法・素材	備考
1	田能村直入	瀛州図	1838	40.1 × 227	絹本墨画	寄託品
2	田近竹邨	桐陰遺興図	1917	170 × 52	絹本着色	藤原文子氏寄贈
3	首藤雨郊	干柿図(内本紅蓼賛)	不詳	125.8 × 32.9	紙本着色	柴田眞氏寄贈
4	首藤雨郊	耶馬溪図	大正時代	145.7 × 56.1	絹本着色	
5	牧 皎堂	山水図	不詳	136 × 32	紙本墨画淡彩	
6	高倉 観崖	四季山水図	1937	各143.4 × 53.4	絹本着色	
7	福田平八郎、牧皎堂、高倉観崖	漁村瓊味之図	大正時代後期	147 × 42.6	絹本着色	
8	福田平八郎	水蜜桃	1920頃	133.2 × 41.9	絹本着色	
9	福田平八郎	白梅	1923	145.6 × 42.5	絹本着色	
10	福田平八郎	緑竹小禽	1926頃	126.7 × 30.8	紙本着色	寄託品
11	福田平八郎	寒天	1926頃	134.7 × 41.5	絹本着色	
12	福田平八郎	鮎	1934頃	43.6 × 64.5	絹本着色	個人蔵
13	首藤雨郊	秋庭	1938	160.8 × 186.2	絹本着色	
14	首藤雨郊	夢中間答	1937	54.4 × 34	紙本着色	個人蔵
15	福田平八郎	蜜柑の花	1937	21 × 33.8	紙本着色	個人蔵
16	本廣 禮	水辺風景	不詳	135.3 × 166.1	紙本着色	個人蔵
17		福田平八郎関係資料	1946他			
18		首藤雨郊関係資料	明治～昭和時代			個人蔵
19		本廣禮関係資料	1937他			本多高明氏寄贈
20	福田平八郎	鮎	1940頃	140.5 × 36	紙本着色	
21	福田平八郎	鯉	1943頃	43.2 × 87.2	絹本着色	
22	福田平八郎	紅葉	1947頃	50 × 67.4	絹本着色	
23	福田平八郎	鮎	1958	48.5 × 75.5	紙本着色	寄託品
24	高山辰雄	限りなき大分潮の香 1	1981	38 × 55	リトグラフ	
25	高山辰雄	限りなき大分昔を歩く 2	1981	39 × 55.8	リトグラフ	
26	高山辰雄	限りなき大分雨あがる高原 3	1981	38.4 × 55.6	リトグラフ	
27	高山辰雄	限りなき大分水しずか 4	1981	39.5 × 55.8	リトグラフ	

No.	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	技法・素材	備考
28	高山辰雄	限りなき大分 5 春を待つ	1981	38.2 × 55	リトグラフ	
29	高山辰雄	限りなき大分 6 現代のいぶき	1981	38 × 55	リトグラフ	
30	高山辰雄	限りなき大分 7 空に映ゆる	1981	38.1 × 54.5	リトグラフ	
31	高山辰雄	限りなき大分 8 明けゆく川	1981	38.5 × 54.9	リトグラフ	
32		高山辰雄愛用遺品 筆・岩絵具等				高山由紀子氏寄贈
33	高山辰雄	椅子に	1990	116 × 87.5	絹本着色	
34	高山辰雄	湯泉	1934	244 × 187	絹本着色	(財)大分県教育会館寄贈
35	高山辰雄	赤い服の女	1950	49.4 × 57.6	絹本着色	高山辰雄氏寄贈
36	高山辰雄	暮小径	1950代後半	40 × 58	紙本着色	
37	高山辰雄	道	1961	45.5 × 60.6	紙本着色	
38	高山辰雄	雨	2003	200 × 140	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
39	正井 和行	憶昔	1992	65.2 × 90.9	紙本着色	正井和行氏寄贈
40	正井 和行	発掘	1992	190 × 160	紙本着色	
41	正井 和行	魃	1971	161 × 220	紙本着色	
42	正井 和行	雨後	1997	210 × 140	紙本着色	
43	岩澤重夫	晨暉(九重飯田高原)	1961	210 × 150	紙本着色	草本利恒氏寄贈
44	岩澤重夫	由布岳	制作不詳	65 × 91	紙本着色	
45	箱崎睦昌	早瀬	1998	182 × 582	紙本着色	
46	今井文二	卓上	1990	162 × 227	紙本着色	
47	今井文二	薔薇瓶	1982	65 × 45.4	紙本着色	
48	今井文二	花の構図	2009	41.3 × 53.3	紙本着色	
49	箱崎睦昌	冬山	1984	182 × 195	紙本着色	
50	箱崎睦昌	情景ブランコ	1982	各112.0 × 193.9	紙本着色	
51	箱崎睦昌	老松	1992	210 × 540	紙本着色	

■常設展示室2 近世の絵画・南画（文人画） 富春館記念室

テーマ （前期）中国明清絵画と竹田

No.	作者	作品名	制作	寸法(cm)	技法・素材	備考
1	(伝)沈 南蘋	封侯図	江戸時代後期	178.6 × 102.2	絹本墨画着色	帆足市太氏寄贈
2	田能村竹田	四季花鳥図(秋)	1809	各 130.2 × 60.7	絹本着色	重要文化財
3	田能村竹田	雁来紅群雀図	1813	129.4 × 42.4	絹本着色	重要文化財
4	余 崧	花鳥図	19世紀前半	132.7 × 47.8	絹本着色	帆足市太氏寄贈

No.	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	技法・素材	備考
5	田能村竹田	溪莊趁約図	1828	118.5 × 42.5	絹本墨画	重要文化財
6	曹 羲	浅絳山水図	1614	141.8 × 34.5	紙本墨画淡彩	
7	查 士標	溪山帰驢図	明末清初	189.8 × 60.1	絹本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
8	汪 琬	松下唵眺図	1649	132.1 × 48	絹本墨画	
9	萬 上遴	水墨山水図	制作不詳	107.7 × 37.2	絹本墨画	
10	朱 巨山	萬松雲海図	明時代	235.5 × 118.5	紙本墨画着色	
11	馬 昂	青緑山水図	清時代中期	109 × 122	紙本墨画着色	
12	淵上旭江	叭々鳥図	1777	88.5 × 29.5	絹本墨画淡彩	
13	田中田信	浅絳山水図	1807	124.5 × 42.5	紙本淡彩	
14	帆足杏雨	設色花鳥図	1841	115.8 × 35.5	絹本墨画着色	
15	帆足杏雨	浅絳山水図	1835	123 × 50.5	絹本墨画淡彩	
16	高橋草坪	黄葉邨舎図	1822～29頃	128.7 × 48.6	紙本墨画淡彩	
17	森 秋艇	花谿遷隠図	1866	134.5 × 47	紙本墨画淡彩	

テーマ (後期) 神と仏のすがた

No.	作者	作品名	制作	寸法(cm)	技法・素材	備考
1	上田耕冲	蛭子大黒図	幕末～明治時代	各95.4 × 33.3	絹本着色	帆足市太氏寄贈
2	淵野真斎	寿老人図	1822	114.2 × 54.4	紙本淡彩	
3	田能村竹田	鍾馗図	1822	97 × 27.3	紙本墨画淡彩	
4	鄒 一桂	佳人吹簫図	清時代中期	83.3 × 29.6	絹本着色	帆足市太氏寄贈
5	田能村直入	羅浮仙女図	明治時代	114.5 × 36.8	絹本着色	帆足市太氏寄贈
6	作者不詳	奈良絵巻「張良」	1661-1681頃	32.7 × 650	紙本彩色	
7	不詳	三略抄	1562写	25.3 × 19	紙本墨書	
8	淵野桂仙	鉄拐仙人図	1858	136.3 × 135.9	紙本墨画着色	帆足市太氏寄贈
9	黄 慎	漁父図	1792	135.4 × 37.6	絹本墨画淡彩	
10	帆足杏雨	南山松柏図	1851	130.2 × 50.4	絹本墨画淡彩	
11	甲斐虎山	匡廬暎翠図	大正～昭和時代	180.3 × 96.4	紙本墨画	
12	狩野探幽	宝珠図	江戸時代初期	31.9 × 48.8	紙本墨画	帆足市太氏寄贈
13	超 珣	出山釈迦図	清時代	109.8 × 39	絹本墨画	帆足市太氏寄贈
14	田能村竹田	白衣大士図	1832～3頃	91.7 × 25.5	紙本墨画淡彩	
15	田中介眉	白衣大士図	江戸時代末期	27.8 × 12	紙本墨画	寄託品

No.	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	技法・素材	備考
16	平野五岳	雪仏図	1882頃	131.4 × 50.6	絹本墨画	
17	平野五岳	十六羅漢図	1884	134.5 × 40	紙本墨画淡彩	

### ■常設展示室3 近代・現代の洋画

#### テーマ 具象絵画の展開

No.	作者	作品名	制作	寸法(cm)	技法・素材	備考
1	権藤種男	女性像	1950頃	32 × 22.5	油彩・板	
2	江藤純平	秋果図	1949頃	36 × 56	油彩・キャンバス	江藤クニ子氏寄贈
3	佐藤 敬	幕間	1947	73 × 53	油彩・キャンバス	
4	糸園和三郎	阿仁の丘	1977	112 × 162	油彩・キャンバス	
5	野見山暁治	明日のことはわからない	1991	181.8 × 227.3	油彩・キャンバス	
6	日野耕之祐	八月の部屋	1985	194 × 130	油彩・キャンバス	日野耕之祐氏寄贈
7	鴨居 玲	教会 スペインB	1973	91 × 73	油彩・キャンバス	
8	平野 遼	逃げる一団	1972	160 × 130	油彩・キャンバス	
18	田淵安一	隠された樹	1981	200 × 200	油彩・キャンバス	
10	白根光夫	那智の滝	1983	131 × 360	油彩・板	
11	脇坂秀樹	残象	1964	130 × 162	油彩・キャンバス	脇坂秀樹氏寄贈
12	工藤和男	琉球の舞	1993	160 × 130	油彩・キャンバス	
13	小杉小二郎	回想(A)	1985	130 × 160	油彩・キャンバス	
14	河原 温	COME ON MY HOUSE	1955	42.5 × 64	鉛筆・紙	
15	滝 純一	風景 - 漂流	1994	194 × 259	油彩・キャンバス	
16	大津英敏	白い風	1995	160 × 130	油彩・キャンバス	
17	有元利夫	遊戯	1977	89.4 × 145.5	油彩・キャンバス	
18	室越健美	花のかたち	1993	130 × 162	ミクストメディア	
19	今永清玄	幸運な兵士	1992	145 × 112	油彩・キャンバス	
20	岩尾善幸	春雷	2003	182 × 454	アクリル・キャンバス	
21	足利桂子	ヨハンの昔話	2001	162 × 162	油彩・キャンバス	足利桂子氏寄贈
22	堀 晃	海の話	1994	182 × 227	油彩・キャンバス	

### ■常設展示室4 竹工芸

#### テーマ 季節と竹

No.	作者	作品名	制作	寸法(cm)	技法・素材	備考
1	生野祥雲斎	乱菊	1964	133.5 × 285.0 × 50.0	竹・籐	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
2	生野祥雲斎	紫竹炭斗	1932頃	高23.0 径20.8	竹・籐	
3	生野祥雲斎	秋苑	1946	高32.0 径34.0	竹・籐	
4	生野祥雲斎	紫竹宗全華籠	1969頃	高25.0 径27.0	竹	
5	生野祥雲斎	はなころも	1965頃	高28.3 径9.0	竹	
6	木村 新	盛籃「巨鉢」	1953	高23.0 径40.8	竹・籐	
7	生野祥雲斎	紫竹荒編華籃久寿玉 I	1964	高43.0 径63.0	竹	

### 第3期常設展

(常設展示室1、2 前期：2月20日(日)まで・後期：2月22日(火)から)

#### ■常設展示室1 近・現代の日本画 高山辰雄記念室

テーマ (前期) 生誕200年帆足杏雨展前期

##### 1. 帆足杏雨の生い立ち

No.	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	技法・素材	備考
1	作者不詳	帆足杏雨像	明治時代	48.6 × 37.8	油彩・画布	個人蔵
2	頼山陽	扁額「富春館」	1829	37.8 × 105.6	紙本墨書	個人蔵
3	頼山陽	扁額「杏雨邨荘」	1829	34.5 × 98.2	紙本墨書	個人蔵
4	小石元瑞	扁額「白沙翠竹邨舎」	1832	23.8 × 100.1	紙本墨書	個人蔵
5	加納雨篷	擅勝閣図	明治時代	15.2 × 11.8	紙本墨画淡彩	個人蔵
6	首藤白陽	聴松庵図	明治時代	15.2 × 11.8	紙本墨画淡彩	個人蔵
7	巖谷一六	扁額「不老館」	明治10	33.2 × 128	紙本墨書	個人蔵

##### 2. 帆足杏雨の絵画 I

No.	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	技法・素材	備考
8	帆足杏雨	清溪書屋図	1829	109.2 × 38.5	紙本墨画淡彩	
9	帆足杏雨	臥龍梅図	1830	59.2 × 120.7	紙本墨画淡彩	個人蔵
10	帆足杏雨	四時花鳥図巻	1830	18.3 × 148	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
11	帆足杏雨	秋晴晩歩図	1832	50 × 41.4	紙本墨画淡彩	
12	帆足杏雨	京游詩画帖	1832-33	26.4 × 31.8	紙本墨画淡彩	
13	帆足杏雨	梅溪暁艤図	1834	158.5 × 45	紙本墨画淡彩	
14	帆足杏雨	夏山烟雨図	1836	142.9 × 52	紙本墨画淡彩	個人蔵
15	帆足杏雨	風雨赴約図	1836	143.1 × 51.7	紙本墨画淡彩	
16	帆足杏雨	巴峽蜀舩図	1836	143.1 × 51.7	紙本墨画淡彩	
17	帆足杏雨	雪溪待鶴図	1836	143.3 × 52.2	紙本墨画淡彩	個人蔵
18	帆足杏雨	芙蓉図	1836	107.5 × 52.5	紙本墨画着色	〃
19	帆足杏雨	花塘細鱗図	1840	111.8 × 42.2	絹本墨画淡彩	〃
20	帆足杏雨	耶馬溪図巻下絵	1840	25.4 × 958.9	紙本墨画	帆足市太氏寄贈
21	帆足杏雨	松下納涼図	1842	142 × 56.4	絹本墨画淡彩	
22	帆足杏雨(画) 中沢雪城(書)	秋聲賦及賦意図	1847・1844	各136.0 × 43	絹本墨書・絹本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
23	帆足杏雨	歐陽公秋聲賦意図屏風	1844-48	170.5 × 366.3	紙本墨画淡彩	個人蔵
24		印章				個人蔵
25	帆足杏雨	聴秋閣摸古画式	1846		紙本墨画淡彩	個人蔵

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
26	帆足杏雨	聴秋閣秘玩	制作不詳		紙本墨画淡彩	個人蔵
27	帆足杏雨	粉本集 1	制作不詳		紙本墨画淡彩	個人蔵
28	帆足杏雨	粉本集 2	制作不詳		紙本墨画淡彩	個人蔵

### 3. 帆足杏雨の師友たち

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
29	浦上春琴、頼山陽、中林竹洞	三幅対	1829	各130.9 × 37.2	絹本墨画淡彩墨書・墨画	帆足市太氏寄贈
30	田能村直入	四季山水図	1884	196.5 × 84.8	紙本着色	
31	高橋草坪	黄葉邨舎図	1822~29頃	128.7 × 48.6	紙本墨画淡彩	
32	田能村竹田	暗香疎影図	1831	136 × 57	紙本淡彩	重要文化財
33	田能村竹田	秋溪間適図	1832	176.4 × 48	紙本淡彩	重要文化財
34	渡辺拈華	仿竹田淡彩山水図	19世紀前半	110.2 × 33.5	紙本墨画淡彩	
35	森 嶮谷	桜花群雀図	19世紀前半	117.5 × 36.5	紙本墨画淡彩	
36	後藤碩田	晚江帰棹図	不詳	130 × 30	紙本墨画	
37	広瀬旭荘	書屏風	19世紀後半	各146.0 × 48	紙本墨画	
38	平野五岳	花卉図貼交屏風	1879他	各147.5 × 52	紙本墨画淡彩	
39	森 秋艇	花谿遷隠図	1866	134.5 × 47	紙本墨画淡彩	

### 4. 帆足杏雨の弟子たち、そして豊後南画の水脈

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
40	小栗布岳	花鳥図	1897	179.6 × 71.7	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
41	甲斐虎山	夏冬山水図屏風	1931	各145.0 × 324.4	紙本墨画淡彩	
42	藤米岳	竹石霜柯図	1880	112.4 × 30.9	紙本墨画淡彩	
43	加納雨篷	淡彩山水図	1925	155.8 × 36.2	絹本墨画淡彩	
44	白須心華	春景山水	1913	135.5 × 51	絹本着色	
45	田近竹邨	端午節句・御所図屏風	1895	各179.2 × 364.8	紙本墨画淡彩	
46	十市石田	花卉図押絵貼交屏風	1890	173.2 × 188	絹本着色	帆足市太氏寄贈
47	梅村翠雨	花鳥図屏風	19~20世紀	154.7 × 285.5	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
48	松本古村	山中高士図	19~20世紀	128.5 × 50.5	絹本着色	
49	平野古桑	雨後観瀑図	1924	173.3 × 52.2	絹本着色	
50	首藤雨郊	幽居不知門外事	1938	129 × 34.2	絹本墨画	
51	高倉観崖	遠山秋雨	1927	145 × 51	絹本着色	
52	草刈樵谷	漁夫帰村図屏風	1928	153.5 × 298	紙本墨画淡彩	



No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
53	幸松春浦	山水図屏風	1924	156.5 × 172.8	紙本金地着色	

## 5. 帆足杏雨の絵画Ⅱ

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
54	帆足杏雨	山陰雪霽図	1851	139.5 × 36.9	紙本墨画淡彩	個人蔵
55	帆足杏雨	李青蓮詩意山水図	1854	154.8 × 57.2	絹本墨画着色	
56	帆足杏雨	巖上弹琴図	1853	154.9 × 57.2	絹本墨画着色	個人蔵
57	帆足杏雨	江邨雨霽図	1854	137.2 × 50.8	絹本墨画着色	個人蔵
58	帆足杏雨	月下舟遊図	1854	137.2 × 50.8	絹本墨画着色	個人蔵
59	帆足杏雨	緑陰煎茶図	1855	182.5 × 52	紙本墨画淡彩	個人蔵
60	帆足杏雨	紅桃牡丹図	1858	各61.7 × 60.2	紙本淡彩	個人蔵
61	帆足杏雨	秋山帰鶴図	1860	142 × 51.9	紙本墨画淡彩	個人蔵
62	帆足杏雨	水辺看雲図・碧梧秋風図	1861	144.1 × 77.3	紙本墨画淡彩	個人蔵
63	帆足杏雨	山水図	1866	各144.2 × 49.8	紙本墨画淡彩	個人蔵
64	帆足杏雨	前後赤壁賦図	1872	各194.0 × 60.9	紙本墨画淡彩	個人蔵
65	帆足杏雨	松竹梅図	1873	各108.7 × 60.3	紙本墨画	個人蔵
66	帆足杏雨	紅葉菊図	1882	各96.7 × 25.3	紙本墨画淡彩	個人蔵
67	野田青石	帆足杏雨像	1891頃	130.7 × 42.1	絹本着色	個人蔵

## テーマ (後期) 生誕200年帆足杏雨展後期

### 1. 帆足杏雨の生い立ち

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
1	作者不詳	帆足杏雨像	明治時代	48.6 × 37.8	油彩・画布	個人蔵
2	頼山陽	扁額「富春館」	1829	37.8 × 105.6	紙本墨書	個人蔵
3	頼山陽	扁額「杏雨邨荘」	1829	34.5 × 98.2	紙本墨書	個人蔵
4	小石元瑞	扁額「白沙翠竹邨舎」	1832	23.8 × 100.1	紙本墨書	個人蔵
5	加納雨篷	擅勝閣図	明治時代	15.2 × 11.8	紙本墨画淡彩	個人蔵
6	首藤白陽	聴松庵図	明治時代	15.2 × 11.8	紙本墨画淡彩	個人蔵
7	巖谷一六	扁額「不老館」	明治10	33.2 × 128	紙本墨書	個人蔵

### 2. 帆足杏雨の絵画Ⅰ

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
8	帆足杏雨	清溪書屋図	1829	109.2 × 38.5	紙本墨画淡彩	
9	帆足杏雨	四時花鳥図巻	1830	18.3 × 148	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
10	帆足杏雨	京游詩画帖	1832-33	26.4 × 31.8	紙本墨画淡彩	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
11	帆足杏雨	浅絳山水図	1835	123 × 50.5	絹本墨画淡彩	
12	帆足杏雨	松陰自適図	1836	143.3 × 52	紙本墨画淡彩	
13	帆足杏雨	秋水野航図	1836	143.3 × 52	紙本墨画淡彩	
14	帆足杏雨	雪溪吟鞭図	1836	143 × 51.7	紙本墨画淡彩	
15	帆足杏雨	福寿草図	1839頃	119.3 × 39.1	紙本墨画淡彩	個人蔵
16	帆足杏雨	耶馬溪図巻下絵	1840	25.4 × 958.9	紙本墨画	帆足市太氏寄贈
17	帆足杏雨	竹外一枝図	1842	109.2 × 110	紙本墨画淡彩	個人蔵
18	帆足杏雨	設色花鳥図	1841	115.8 × 35.5	絹本墨画着色	
19	帆足杏雨	松下納涼図	1842	142 × 56.4	絹本墨画淡彩	
20	帆足杏雨	風雨渡航図	1845	147.8 × 40.5	紙本墨画淡彩	安東裕氏寄贈
21	帆足杏雨	老圃秋容図	1848	154.8 × 57.2	絹本墨画着色	
22	帆足杏雨	月下竹梅図襖	幕末～明治時代	173.5 × 72.3	紙本墨画金砂子	帆足市太氏寄贈
23	帆足杏雨	印章				個人蔵
24	帆足杏雨	聴秋閣摸古画式	1846	27 × 19	紙本墨画淡彩	個人蔵
25	帆足杏雨	聴秋閣秘玩	制作不詳	29 × 20.5	紙本墨画淡彩	個人蔵
26	帆足杏雨	粉本集 1	制作不詳	27.5 × 19.4	紙本墨画淡彩	個人蔵
27	帆足杏雨	粉本集 2	制作不詳	27.7 × 19.5	紙本墨画淡彩	個人蔵

### 3. 帆足杏雨の師友たち

No.	作者	作品名	制作	寸法 (cm)	技法・素材	備考
28	篠崎小竹	咏史	江戸時代後期	143.9 × 57.3	紙本墨書	帆足市太氏寄贈
29	貫名海屋	陶潜漉酒図	江戸時代後期	130 × 30.3	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
30	後藤碩田	高城山大悲閣図	1848	109.5 × 27.3	紙本墨画	寄託品
31	田能村直入	四季山水図	1884	各196.5 × 84.8	絹本着色	
32	高橋草坪	山水妙清図	1823	110 × 26.8	紙本墨画	寄託品
33	田能村竹田	曲溪複嶺図及題詩	1832	各172.0 × 31.5	紙本淡彩・紙本墨書	重要文化財
34	田能村竹田	澗道石門図	1834	154 × 66.6	絹本着色	重要文化財
35	渡辺拈華	仿竹田紙雛図	19世紀前半	95.5 × 29.5	紙本墨画淡彩	
36	田能村如仙	無腸公子図	不詳	127 × 30.5	紙本墨画	
37	角田九華	書	19世紀後半	115 × 25.3	紙本墨画	
38	広瀬旭荘	書屏風	19世紀後半	各146.0 × 48	紙本墨画	
39	平野五岳	花卉図貼交屏風	1879他	各147.5 × 52	絹本墨画淡彩	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
40	森 秋艇	花谿遷隱図	1866	134.5 × 47	絹本墨画淡彩	

#### 4. 帆足杏雨の弟子たち、そして豊後南画の水脈

No.	作者	作品名	制作	寸法 (cm)	技法・素材	備考
41	小栗布岳	花鳥図	1897	179.6 × 71.7	絹本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
42	甲斐虎山	夏冬山水図屏風	1931	各145.0 × 324.4	紙本墨画淡彩	
43	藤米岳	竹石霜柯図	1880	112.4 × 30.9	紙本墨画淡彩	
44	加納雨篷	淡彩山水図	1925	155.8 × 36.2	絹本墨画淡彩	
45	白須心華	春景山水	1913	135.5 × 51	絹本着色	
46	田近竹邨	端午節句・御所図屏風	1895	各179.2 × 364.8	紙本墨画淡彩	
47	十市石田	花卉図押絵貼交屏風	1890	173.2 × 188	絹本着色	帆足市太氏寄贈
48	梅村翠雨	花鳥図屏風	19~20世紀	154.7 × 285.5	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
49	松本古村	山中高士図	19~20世紀	128.5 × 50.5	絹本着色	
50	平野古桑	雨後観瀑図	1924	173.3 × 52.2	絹本着色	
51	首藤雨郊	幽居不知門外事	1938	129 × 34.2	絹本墨画	
52	高倉観崖	遠山秋雨	1927	145 × 51	絹本着色	
53	草刈樵谷	漁夫帰村図屏風	1928	153.5 × 298	紙本墨画淡彩	
54	幸松春浦	山水図屏風	1924	156.5 × 172.8	紙本金地着色	

#### 5. 帆足杏雨の絵画Ⅱ

No.	作者	作品名	制作	寸法 (cm)	技法・素材	備考
55	帆足杏雨	霊山図	1849	140.2 × 40.1	紙本墨画淡彩	個人蔵
56	帆足杏雨	溪山晴翠図	1849	153.7 × 72.5	絹本墨画淡彩	
57	帆足杏雨	秋夜読書図	1849	152.6 × 72.5	絹本墨画淡彩	
58	帆足杏雨	南山松柏図	1851	130.2 × 50.4	絹本墨画淡彩	
59	帆足杏雨	岩下深藻遊鯉図	1858	140.8 × 51.5	絹本着色	個人蔵
60	帆足杏雨	梧陰清賞図	1860頃	159.6 × 72.8	絹本墨画淡彩	個人蔵
61	帆足杏雨	前後赤壁賦図	1862	各136.8 × 32.2	絹本墨画淡彩	個人蔵
62	帆足杏雨	溪山春雲図	1864	153.7 × 52.3	絹本墨画淡彩	個人蔵
63	帆足杏雨	松竹梅白鶴図	1865	各120.6 × 42.3	絹本墨画淡彩	個人蔵
64	帆足杏雨	菜根図	1865	各73.5 × 27.4	紙本墨画淡彩	個人蔵
65	帆足杏雨	峻嶺飛泉図・霜林晚露図	1865	各173.0 × 52	絹本墨画淡彩・ 絹本墨画	
67	帆足杏雨	達磨図	1876	138.4 × 40.4	紙本墨画	個人蔵
68	帆足杏雨	晩渡帰農図・風渡林月図	1877	各134.8 × 47	紙本墨画淡彩	個人蔵

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
69	帆足杏雨 平野五岳	富嶽瑞雲図	1882	174.7 × 77.4	紙本墨画淡彩	個人蔵

■常設展示室3 近代・現代の洋画

テーマ 官展の画家たち

No.	作者	作品名	制作	寸法 (cm)	技法・素材	備考
1	片多徳郎	キンカン	1912	72.9 × 53.2	油彩・キャンバス	
2	片多徳郎	初夏	1923	72.8 × 60.6	油彩・キャンバス	
3	片多徳郎	歌者	1928	45 × 45	油彩・キャンバス	
4	権藤種男	府内城	1934	112 × 87	油彩・キャンバス	
5	権藤種男	収穫	1934	88 × 113	油彩・キャンバス	
6	権藤種男	瓦礫の街	1945頃	28.5 × 37.5	油彩・キャンバス	宮本克子氏寄贈
7	権藤種男	風景	不詳	44.6 × 37	油彩・キャンバス	
8	権藤種男	耶馬溪	不詳	23 × 32	油彩・板	
9	権藤種男	ばら	不詳	24 × 33	油彩・板	
10	武藤完一	魚住滝	1936	22.6 × 19.2	エッチング	
11	武藤完一	高崎山遠望(別府春木川にて)	1938	23.2 × 32.4	油彩・板	
12	武藤完一	冬の海(白木にて)	1938頃	31 × 40.2	油彩・キャンバス	
13	後藤真吉	高崎山	不詳	41.5 × 53	水彩・和紙	橋本祥案氏寄贈
14	江藤純平	花	1930頃	45 × 45	油彩・キャンバス	江藤クニ子氏寄贈
15	江藤純平	裸婦	1923頃	80 × 53	油彩・キャンバス	江藤クニ子氏寄贈
16	江藤純平	椿	1931	73 × 91	油彩・キャンバス	江藤クニ子氏寄贈
17	江藤 哲	阿蘇の朝	不詳	45 × 33	油彩・キャンバス	
18	佐藤 敬	ベラスケス模写	1928	80 × 60.5	油彩・キャンバス	
19	佐藤 敬	ドン・キホーテ	1931	44.5 × 37	油彩・キャンバス	
20	佐藤 敬	Notre Dame du Paris	1932	54 × 64	油彩・キャンバス	
21	佐藤 敬	月	1938	194 × 130	油彩・キャンバス	
22	佐藤 敬	少女半身	1940	72.7 × 53.1	油彩・キャンバス	
23	佐藤 敬	中国風景	1941	26.5 × 42.5	インク、パステル・紙	
24	佐藤 敬	印度少女	1943	72.5 × 53.2	油彩・キャンバス	岸井眞弓氏寄贈
25	仲町謙吉	きものの女	1961	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	
26	仲町謙吉	仏頭 I	1983	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	仲町謙吉氏寄贈
27	仲町謙吉	呷	1992	116.7 × 91	油彩・キャンバス	仲町謙吉氏寄贈
28	仲町謙吉	耀	1994	116.7 × 90.9	油彩・キャンバス	仲町謙吉氏寄贈

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
29	福田平八郎	竹	1942頃	径18.3 横51.5	紙本着色	
30	福田平八郎	暖冬	1952	46.3 × 66.8	絹本着色	
31	高山辰雄	窓のある	1934以降	55 × 39	リトグラフ	
32	高山辰雄	雲とぶ日	1988	48.3 × 36.8	リトグラフ	
33	高山辰雄	弥生	2006	76 × 55	紙本墨画	寄託品

■常設展示室4 竹工芸

テーマ 祥雲齋の美の原点

No.	作者	作品名	制作	寸法 (cm)	技法・素材	備考
1	生野祥雲齋	紫竹投入華籠	1932	高46.0 径24.0	竹	
2	此君亭工房	桔梗	昭和後期	2.7 × 12.7	竹	生野徳三氏寄贈
3	生野祥雲齋	花衣華入	1965頃	高28.8 径8.6	竹	
4	生野祥雲齋	輪花永芳盛籃	1944	高14.0 径39.0	竹・籐	
5	生野祥雲齋	紫竹蓑虫華籃	1965頃	高22.5 径11.5	竹	
6	生野祥雲齋	白竹通筒華入	1955頃	50 × 6.3	竹・籐	
7	此君亭工房	あひるのモバイル	1970頃	高70.0 径70.0	竹	生野徳三氏寄贈
8	生野祥雲齋	くいな笛	1953頃	高42.0 径7.3	竹	生野徳三氏寄贈
9	此君亭工房	笹舟(クリヤー)	昭和後期	5.5 × 7.7	竹・籐	生野徳三氏寄贈
10	生野祥雲齋	白竹水月吊華籃	1961頃	21 × 42	竹・籐	

### 3. 2. 4. 常時展示作品

4つの常設展示室のほか、館内・館外の各所に彫刻などの作品を常時展示した。

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	場所
1	熊井恭子	風の道・水の道	2001	1200×660×560	ステンレス・スチール線	常設棟1・2F
2	田中信太郎	風の吹く場所	1992-93	193×361×16	強化プラスチック	常設棟1F
3	今井俊満	鯉のぼり-大分-	1987	200×1000	アクリル・キャンバス	常設展室3
4	朝倉響子	Ashley (アシュリー)	2001	H163×70×46	ブロンズ	エントランスホール
5	村井進吾	FORM-IV	1992	153×160×159	黒御影石	1F中庭
6	風倉 匠	陰陽学	2000	120×250×120	アルミ合金	企画棟屋上
7	剣持和夫	宇奈月	1993	30×30×800	ブロンズ	企画棟屋外
8	井上一朗	L-MOTION	2000	303×270×210	アルミニウム	企画棟屋外
9	安藤 泉	遊星散歩	1999	660×665×240	純銅板、鍛金	芝生広場
10	原口典之	重力	2003	H79×286×800	厚鋼板・コンクリート	芝生広場
11	佐脇健一	BOLT DOG	2000	大73×118×20 他	鉄	チャイルドハウス周辺
12	青木野枝	荒玉	2002	430×390×1740	鉄	散策路
13	朝倉文夫	あこがれ	1958	58×41×40	ブロンズ	企画棟ホワイエ
14	合田習一	WORK' 86-10	1986	182×27×24	木、石、銅線	常設棟1F
15	相武常雄	トルソ1	1995	161.5×95×41	銅	常設棟1F
16	相武常雄	トルソ2	1995	95×161.5×42	銅	常設棟1F

### 3. 3. サマー企画

#### 3. 3. 1. アート・ワンダーランド2010

「びじゅつかんであそぼーアートでおおいた再発見！」

**概要** アート・ワンダーランドは、子どもたちに、楽しく、興味を持って美術品を鑑賞してもらうことを目的とした展覧会である。8回目となる本展は、郷土の魅力を再発見するとともに、郷土に親しみと誇りを持てるよう、所蔵品の中から特に大分市出身の美術家や、大分市在住の美術家たちの作品によって紹介した。

**会期** 平成22年7月13日（火）～9月20日（月） 公開日数 68日間

**主催** 大分市美術館

**後援** 大分合同新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、エフエム大分、OCT 大分ケーブルテレコム

**出品点数** 87点

**観覧者数** 48,208人

**観覧料** 一般 300（250）円／高大生 200（150）円、中学生以下無料  
※（ ）内は20人以上の団体料金

**関連事業** ■普及プログラム「日本画再発見！」  
ー日本画の、絵の具や材料のことを、見て、きいて、知ろうー  
**日時** 平成22年8月1日 午後1時～4時  
**場所** 常設展示棟 展望ロビー  
**講師** 鈴木忠実氏（大分県美術協会日本画部長）  
**観覧者** 238人

（担当 嶋田）

## 目録

## 常設展示室 1

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
1	松本古村・ 福田平八郎 他	十四花草果菜の 図	1922	51.8 × 180.0	絹本着色	大分市立荷揚町小 学校蔵
2	福田平八郎	紅葉と虹	1947	61.0 × 88.0	絹本着色	
3	福田平八郎	鮎	1950	42.0 × 56.0	絹本着色	
4	福田平八郎	日本娘の顔	1910代	22.1 × 14.4	紙・鉛筆・パステル	
5	福田平八郎	果菜図	1921頃	120.0 × 40.6	絹本着色	
6	福田平八郎	紫陽花孔雀図	1921	147.5 × 145.6	紙本着色	
7	福田平八郎	猫	大正時代中期	115.8 × 55.7	絹本着色	個人蔵
8	福田平八郎	飛魚	1926頃	44.5 × 57.7	絹本着色	
9	福田平八郎	鳳仙花	1947	30.5 × 43.0	紙本着色	
10	首藤雨郊	薩摩街道の冬	1921頃	167.8 × 376.0	綿本着色	首藤洲宏氏寄贈
11	首藤雨郊	村の秋晴れ	1930	227.0 × 186.0	紙本着色	首藤晃良氏寄贈
12	首藤雨郊	良寛稚児焚火図	1936	129.0 × 33.3	絹本着色	柴田眞氏寄贈
13	高山辰雄	筍	1947	44.1 × 51.5	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
14	高山辰雄	坂道	1948頃	47.8 × 51.0	絹本着色	
15	高山辰雄	夕	1955	64.5 × 93.7	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
16	高山辰雄	紫陽花の頃	1941	125.0 × 41.0	絹本着色	
17	高山辰雄	朱樂	1952	40.1 × 57.1	絹本着色	高山辰雄氏寄贈
18	高山辰雄	豊後里道に月を見る	2005	153.8 × 100.0	紙本金砂子着色	
19	高山辰雄	沼にうつる	1955	48.5 × 72.6	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
20	高山辰雄	丘の上	1973	134.0 × 215.0	紙本着色	
21	高山辰雄	白鷺	1939頃	各167.7 × 371.4	紙本墨画	
22	幸松春浦	牧童吹笛図	1930代	84.8 × 99.8	絹本着色	
23	幸松春浦	深山雲烟図	1930代	84.5 × 99.8	絹本墨画淡彩	
24	幸松春浦	雨情	1954	136.0 × 123.5	紙本着色	
25	幸松春浦	溪韻	1960	53.0 × 58.2	紙本着色	
26	幸松春浦	春	1961	47.0 × 52.8	紙本着色	
27	正井和行	憶昔	1992	65.2 × 90.9	紙本着色	正井和行氏寄贈



No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
28	正井和行	三宝	制作年不詳	44.7 × 52.0	紙本着色	
29	宮崎喜恵	あだし野	1990	162.1 × 130.3	紙本着色	宮崎喜恵氏寄贈
30	宮崎喜恵	磨崖の佛さん	1999	160.5 × 110.5	画布着色	
31	詫間夢鳳	竹柏勁心	2007	69.6 × 77.6	紙本墨画	詫間夢鳳氏寄贈
32	鈴木忠実	霧を行く	2002	160.5 × 259.7	紙本着色	鈴木忠実氏寄贈
33	紙谷義久	雨季 7月	1986	145.5 × 145.5	紙本着色	紙谷義久氏寄贈
34	首藤詔子	絵巻に偲ぶ	1985	162.1 × 130.3	紙本着色	首藤詔子氏寄贈
35	首藤詔子	秋日	1983	162.0 × 130.3	紙本着色	
36	南 聡	大潮	1996	180.0 × 360.0	紙本着色	
37	南 聡	潮	1996	180.0 × 360.0	紙本着色	

## 常設展示室 2

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
38	田能村竹田	四季花鳥図 (夏)	1809	130.2 × 60.7	絹本着色	重要文化財・8/15 まで展示
39	田能村竹田	溪荘趁約図	1828	118.5 × 42.5	絹本墨画	重要文化財・8/15 まで展示
※	田能村竹田	疎林溪閣図	1821	128.5 × 46.0	紙本墨画淡彩	8/16から展示
※	田能村竹田	柳陰捕魚図	1828頃	118.5 × 42.5	絹本着色	重要文化財・8/16 から展示
40	帆足杏雨	秋水野航図	1837頃	152.2 × 52.0	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈・ 8/15まで展示
41	帆足杏雨	老圃秋容図	1848	154.8 × 57.2	絹本墨画着色	8/15まで展示
※	帆足杏雨	松陰自適図	1837頃	143.3 × 52.0	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈・ 8/16から展示
※	帆足杏雨	李青蓮詩意山水図	1854	154.8 × 57.2	絹本墨画淡彩	8/16から展示
42	牧皎堂	山水図	制作年不詳	136.0 × 32.0	紙本墨画淡彩	
43	牧皎堂	鶴	制作年不詳	110.0 × 40.6	絹本着色	
44	高倉観崖	長江春嵐・空山凍雲	1936	各143.0 × 28.0	絹本墨画淡彩	
45	高倉観崖	遠山秋雨	1927	145.0 × 51.0	絹本着色	藤原文子氏寄贈
46	高倉観崖	夏景山水図	制作年不詳	128.0 × 42.0	絹本着色	本幡良子氏寄贈
47	幸松春浦	江南晚秋図屏風	1920	各137.6 × 354.2	紙本墨画淡彩	
48	幸松春浦	松溪高士図	1935	137.0 × 51.8	絹本着色	
49	幸松春浦	空山雪後図	1930代	132.5 × 26.9	紙本墨画	幸松憲一氏寄贈
50	幸松春浦	瑞雪図	1930代	122.0 × 21.0	絹本着色	幸松憲一氏寄贈

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
51	幸松春浦	竹林帰漁図	1950代	91.0 × 90.0	紙本墨画淡彩	
52	幸松春浦	湧雲	1960頃	59.0 × 67.2	紙本着色	寄託品
53	幸松春浦	小禽図	1950代	48.8 × 54.1	紙本着色	橋本祥案氏寄贈

### 常設展示室 3

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
54	権藤種男	桜並木	1930	45.0 × 58.0	油彩・キャンバス	首藤泰比古氏寄贈
55	佐藤敬	Notre Dame du Paris	1932	54.0 × 64.0	油彩・キャンバス	
56	佐藤敬	Ado in Beppu	1946	60.6 × 45.5	油彩・キャンバス	
57	佐藤敬	枯葉	1946	73.0 × 53.0	油彩・キャンバス	
58	仲町謙吉	秋深し	2005	89.4 × 145.4	油彩・キャンバス	仲町謙吉氏寄贈
59	廣瀬通秀	モニュメント	1976	181.8 × 227.3	油彩・キャンバス	廣瀬通秀氏寄贈
60	廣瀬通秀	颱風	1955	72.7 × 90.0	油彩・キャンバス	廣瀬通秀氏寄贈
61	菅久	作品A (黒い花)	1953	60.6 × 45.5	油彩・キャンバス	菅久氏寄贈
62	脇正人	家	1958	130.0 × 130.0	油彩・キャンバス	脇正人氏寄贈
63	脇正人	作品C	1970	112.1 × 145.5	油彩・キャンバス	脇正人氏寄贈
64	飯尾寿夫	或る風景	1958	90.9 × 116.7	油彩・キャンバス	飯尾寿夫氏寄贈
65	飯尾寿夫	雲の上の耳と椅子(2)	2006	227.3 × 181.8	油彩・キャンバス	
66	菅玲子	行水	1955	80.3 × 60.6	油彩・キャンバス	菅玲子氏寄贈
67	菅玲子	バスストップ	1976	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	
68	吉村益信	CUT SEA(磯波)'73白	1973	33.5 × 44.5	油彩・キャンバス	吉村益信氏寄贈
69	吉村益信	CUT SEA(磯波)'73青	1979	33.5 × 44.5	油彩・キャンバス	吉村益信氏寄贈
70	児玉成弘	街角1987-1	1987	181.8 × 227.3	油彩・キャンバス	児玉成弘氏寄贈
71	脇坂秀樹	変容する丘	1994	112.1 × 162.1	油彩・キャンバス	脇坂秀樹氏寄贈
72	脇坂秀樹	街がある	1969	130.3 × 162.1	油彩・キャンバス	脇坂秀樹氏寄贈
73	工藤和男	朝の港	1995	193.0 × 162.0	油彩・キャンバス	
74	新名隆男	風景	2004	70.0×40.0×20.0	アクリル	新名隆男氏寄贈
75	風倉匠	クロスカントリー	1991	74.0 × 53.0	鉛・木	
76	御手洗賢司	予感(トランプ)	1993	162.1 × 194.0	油彩・キャンバス	御手洗賢司氏寄贈
77	山崎哲一郎	地質時代(折れ曲がる化石魚)	1994	163.0 × 163.0	油彩・キャンバス	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
78	渡辺恭英	莫	2000	192.5 × 222.5	アクリル・板	渡辺恭英氏寄贈

展示室 4

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・技法	備考
79	山口龍雲	炎舞	2004	62.8×56.0×32.0	竹	
80	生野徳三	白竹の籠 萌芽	1981	47.0×40.0×35.0	竹・籐	生野徳三氏寄贈
81	生野祥雲齋	怒涛	1960	53.0×73.0×53.0	竹・籐	
82	生野徳三	水煙	2001頃	高56.0 径36.0	竹・籐	
83	生野祥雲齋	白竹投入華籃	1965頃	高41.0 径16.5	竹	
84	生野祥雲齋	紫竹投入華籃	1955代	高41.5 径14.0	竹	
85	生野祥雲齋	紫竹かけ華籃	1932頃	高26.8 11.2×30.0	竹	
86	此君亭工房	桔梗	昭和後期	2.7×14.7×12.7	竹	生野徳三氏寄贈
87	此君亭工房	七宝紋こっぷ受	昭和後期	高1.5 径6.8	竹	生野徳三氏寄贈